

平成22年度

セント・ピーターズバーグ市派遣
高校生親善研修生報告書

平成22年7月17日(土)～7月30日(金) 14日間



Takamatsu International Association
財団法人 高松市国際交流協会

目 次

1. 日程	1
2. 親善研修生 報告書 I 高松第一高等学校 2年 大藪 連太郎	
日誌・活動記録	2
感想文「新しい「関わり」」	18
3. 親善研修生 報告書 II 高松高等学校 2年 小野坂 知子	
日誌・活動記録	19
感想文「The memories of special summer…!」	35
4. 親善研修生 報告書 III 高松第一高等学校 3年 高尾 有紀	
日誌・活動記録	37
感想文「異文化間コミュニケーションに大切なもの」	46

日 程 表

7月17日(土) 9:40 高松空港発
 10:55 羽田空港着
 16:55 成田空港発

----- 日付変更線通過 -----

 14:21 シカゴ オヘア国際空港着
 16:35 シカゴ オヘア国際空港発
 20:12 タンパ空港着

7月29日までセント・ピーターズバーグ市でホームステイ

7月29日(木) 8:45 タンパ空港発
 11:02 ワシントン ダレス国際空港着
 12:57 ワシントン ダレス国際空港発

----- 日付変更線通過 -----

7月30日(金) 15:30 成田空港着
 19:15 羽田空港発
 20:30 高松空港着

日誌・活動記録

高松第一高等学校 2年 大藪 連太郎

7月17日(土)

高松空港から両親や交流協会の人に見送られて、8時50分に搭乗ゲートへ向かう。少しそこで待って搭乗。飛行は1時間だけなので、これからの国際線での乗り継ぎを考えれば全然平気だ。

羽田着。ターミナルが分かれているのでそれほど大きいとは感じなかった。バスのチケットを取って、特に何もせずそのまま成田行きのバスに乗る。

成田着。着いてすぐにボードを確認すると、搭乗予定の便は遅れるようだ。UA880便は16時55分から17時25分へ変更、とある。お腹がすいたのでチェックインしてすぐにフードコートへ行く。蕎麦にしようということになって3人で蕎麦屋へ入ったけれど、蕎麦は注文せずに天井を食べた。少し空港の中を見て回って、出国審査の後免税店へ行った。炊飯器や便座が電気屋のように普通に売っていて驚いた。表示が中国語だったから、どんな人が買うのかは分かった。大好きなボールペンの日本限定版を見つけて買った。ゲートで、日本人が少ないことに気がついた。成田発でも周りは中国人や韓国人ばかりだった。

17時25分出発。座席は左窓際の隣(37B)で、その窓際には小野坂さんで、右隣はマレーシア人の男の人、高尾さんは少しはなれたところ。離陸してしばらくしたら、機内食が配られ始めた。メニューは「チキン」、「ビーフ」の2種類。ビーフを選んだが、名前のわりに肉はちょっとで、ブロッコリーのほうが多い。メニューを「ブロッコリー」にしてもいいだろう。その上トレーがぐらぐらして非常に食べにくい。でもおいしかった。太陽と逆周りで、日本時間の2時にはもう空が明るくなり始めた。日はどんどん高くなって4時には大分西に傾いている。自転つてこんなものか。



11時間3分の飛行でオヘア空港へ到着し、入国審査の長い列に並ぶ。鼻が慣れていないせいか、とても強いいろいろな香水の入り混じったにおいがする。飛行機で飲み慣れていない苦いコーヒーを飲んだのもあって、気分が悪くなった。前に並ぶ人が中国人で香水を着けていない様だったので、その人のそばで深呼吸していたら良くなった。しかし、これから乗るタンパ着のUA320便の出発時刻である16時35分が過ぎても列から抜けられない。とうとう乗り遅れてしまった。審査後、ユナイテッドのカウンターへ行って成田発が遅れたので乗り遅れたと言うと、次の20時15分の便に振り分けてくれた。ただ、到着が11時58分と真夜中ということで、ホストへ電話。全て高尾さんがしてくれた。どうもありがとうございます。その後、空港内のジュースショップで“a mango go go”というジュースを買って飲んだ。マンゴー味でちゃんと果肉まで入っていてすごく甘かった。飲みながら搭乗ゲートへ行き、ゲートと飛行機が定刻発なのを確認して、出発まで2時間ほど、ずっ



とボケーっと座っていた。さすがに疲れていたけれど、眠くはなかった。最終的にゲートは変更になったけれど定刻で出発。

国内線なのに座席は成田から乗ってきた飛行機より広かった。座席は窓際で、外がよく見える。後ろを見ると、他にも離陸待ちをしているのが見える範囲に6機、そして前に離陸した飛行機は10機を余裕で超えていた。さすがシカゴ、オヘア。もう8時を過ぎているのに、まだ日本の5時か6時のように明るい。離陸すると町々がよく見える。見えなくなるまで1本の長い道路が続いていて、その周りに基盤の目のように道があって建物がある。そんな町が到着まで何度も見えた。だんだん暗くなり始めたので寝る。着陸の少し前に目が覚めた。

定刻着。飛行機を降りると、市の職員のElizabethさんとBethさんが迎えてくれた。ホストファミリーは手荷物の所にいるらしい。そこへ着くとファミリーが迎えてくれた。ただ、ステイさせてもらう予定のLisaとJakeは少し遅れるらしく、代わりにユキさんの2週目のファミリーが迎えてくれた。まもなくLisaとJakeが到着し、挨拶をして荷物を持って駐車場へ。家まで30分、趣味や家族構成について少し話をした。思っていたより英語が話せた。

家に着くと、留守番をしていたFairy(犬)が迎えてくれた。初めてなのに行儀がよく何もされなかった。家の中を少し見せてくれた。ホストしてくれる部屋はJakeの兄である大学生のCalvinの部屋だ。シャワーを浴びて1時50分就寝。

7月18日(日)

6時半頃活動開始。疲れたわりに眠れてないように思う。

着替えたり顔を洗ったり、いろいろ準備をしてキッチンへいくとJakeがシリアルを食べていた。朝食には、シリアル、ヨーグルト、パイ、飲み物は牛乳とジュースが数種類あった。いつでも、好きなだけ食べていいそうだ。ありがたい話だけど、朝はそれほど食べないのでヨーグルトと牛乳だけ。ヨーグルトはいろいろジャムがあっておいしいけれど激甘だった。

9時からJakeとFairyの散歩へ行った。他にも犬の散歩をさせている人が何人かいた。そのうちの一人の近所の人と挨拶をした。散歩は家の近くを回って15分くらいで帰ってくるだけでそれほど長くはない。家へ帰って、Fairyと少し遊びながらJakeとテレビを見た。Lady GagaのPVを放送していたが、Jakeはあまり興味がないらしい。その後、かなりの数のダイエット器具がテレホンショッピングで紹介されていた。「買いまくって運動して、ここまで痩せようとするなんて浅ましい。」とJakeが言う。話が合いそうだ。しばらくして、Jakeは自転車屋のバイトに行った。Lisaと一緒に近くのモールへ行くことになった。今日の目的は昼食の材料の調達なのでそれ以外はあんまり見なかったけれど、肉とポテトチップスの種類の多さが印象に残った。昼食はLisaが作ったチーズをはさんだバターを塗ったパン、その上にポテトチップスをかけて食べる。野菜を食べなくても怒られないので最高だ。



昼からLisaの両親の家に行く。寝室から押入れの中まで、Host GrandmaのDeが案内してくれた。写真がどの部屋にもたくさん飾ってある。娘3人の名前は皆Lynne, Lilly, Lisaと“L”から始まると教えてくれた。一家はノルウェー系らしい。GrandpaのFredはキャデラックが大好きで、車はもち

ろん、着ているアロハと自転車までキャデラック製だった。元軍のヘリパイロットで、ベトナム戦争のときに日本に2度来たそう。

Lisa と De, そして Fred とサーカスを見に行く。みんなが笑っているジョークで笑えないのは悔しい。でもパフォーマンスは楽しめた。太鼓、フラフープ、筒乗り、ワイヤーパフォーマンス、ジャグリングが演目で、役者の人はそれぞれメキシコ、キューバ、ドイツなどからで、ジャグリングをしていたのは日本人の11歳の男の子だった。



サーカスが終わると、車を乗り換えて Lisa と家に帰りクッキーを作った。「Ren's Birthday」だからみんなでパーティーだよ。」ということで、その為のクッキー。なかなかきれいな形に作れない。焼きあがって膨らむと、クッキー同士の隙間がなくなって四角になった。終わって部屋に戻ると、いつの間にか寝ていた。1時間半ほどたって De のノックで目が覚めた。いつ来たんだろう。Lisa のシスターの Lynne も来ていた。

ディナーはハンバーグ、キャベツ、トマト、パン、とうもろこしだった。食べ終わると、いつの間にか買ってきてくれていたケーキが出てきた。カラフルなケーキで誕生日を祝ってもらえてとてもうれしい。ケーキはかなり甘い。特に緑色のクリームの部分が甘くていい。その後、世界地図の日本を見せていろいろ説明した。日本が北海道から沖縄まで、結構大きいことにみんなびっくりしていた。少しして、Fred と De が家へ帰る。シカゴへ旅行に行くのでもう会えない。残念。その後 Lynne も帰った。



Fairy を連れて3人で散歩に行く。Lisa は4マイル歩くそうだが、疲れたので真ん中ぐらいで Jake と引き返す。家に帰ってテレビでショウを見る。1時就寝。

7月19日(月)



8時起床。早く起きたら Jake と自転車で出かける予定だったが、時間に遅れてしまった。家には誰もいない。アップルパイとヨーグルトを食べて、牛乳を飲んだ。11時くらいまで Fairy と遊んでいた。

昼前に帰ってきた Jake と昼ごはんを食べに行く。車で5分強のところにある Taco Bell というメキシカンのチェーン

店で、いろんな種類のナチョスやブリトーがあった。オーダーしたブリトーがとてもおいしい。そういえば、メキシカンはあまり食べたことがない。ここまでおいしいとは知らなかった。Taco Bell はぜひ日本に進出してほしい。食べ終わると、プー





ルへ行った。North Shore Pool というプールで、すぐ近くに海がある。真ん中が 11 フィート強で、飛び込み台から飛び込めるようになっている。2 人ともほとんど泳がずに飛び込みばかりした。下手に落ちると物凄く腹が痛い。Jake は慣れているのかうまく頭から飛び込んでいた。



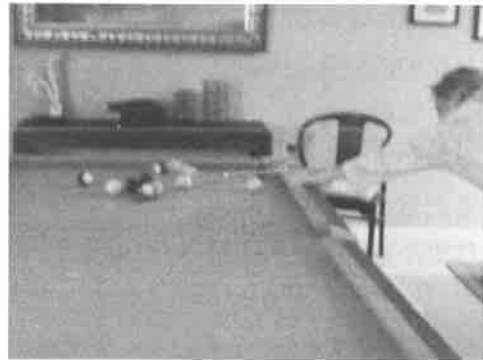
プールを 1 時間くらいであがって、ダウンタウンへ行く。アイスをおごってくれるということだったけれど、そのアイスクリーム屋がつぶれている... ので、少し歩いたところにある小さなスーパーへ行って、ミントの香りがついた水を買ってくれた。チョコレートの香りもあったけど、甘いものばかりでちょっと辛かったのでそれにした。アメリカに来て牛乳以外で甘くないのははじめて飲んだ。そこから少し歩いた。高松より暑い割には汗がほとんど出ない。

家に帰ってベットに横になったら寝てしまって、いつの間にか 2 時間もたっていた。ディナーの時間ということで Jake が起こしにきてくれた。Lisa の他に Lynne もいて、4 人でワッフルとチキンを食べた。とてもおいしかった。Lisa

は Lynne とビリーズブートキャンプを観ながら体を鍛えると言って、Lynne の家に行った。Jake は買い物に行くというので連れて行ってもらうことにした。Publix というモールで、昨日 Lisa と来た所だ。いろいろ見て、結局歯磨き粉だけ買った。家に帰って、Fairy の散歩へ。音は聞こえないけど向こうの方で稲妻が光っている。散歩が終わって家に帰ると、Lisa 達も帰ってきたけれど、Lynne はすぐ帰ってしまった。

Jake に日本から持ってきたノートとペンをあげた。ノートの表紙が日本製なのに日本語ではなく英語で書かれていることを可笑しがっていたが、アメリカものより質が良いことにきっと驚くだろう。夏休み明けから学校で使うといていた。

11 時から、3 人でビリヤードをした。英語でビリヤードは Pool というようで、(泳ぎに行く) プールと同じで混乱して訳が分からなくなりそう。0 時 30 分就寝。



7月20日(火)

5 時半起床。昨日寝まくったのであまり眠れない。朝食はシリアルとヨーグルトで、シリアルには意外だが砂糖が入ってなかった。

9 時から Jake とキャンプへ行く。小野坂さんも来るらしい。Tech Camp ということで、コンピュータを使って電子音楽を作ると聞いていたけれど、全員がそれに取り組んでいるわけではなくて、みんな自分のしたいことをしているようだ。ただ話すだけの子もいるし、正面にあるスクリーンでアバター



を見ている子もいる。1人シンセサイジングソフトを駆使している男の子がいたが、完成度の高さに驚いた。みんな寄って来て自己紹介をしてくれるが、名前がなかなか覚えられない。今回のミッションは「PhotoShop(画像編集ソフト)を使って何かの写真を編集しろ！」というものだったので、Jakeと渡辺謙の画像を探してきて、そこにJulia Robertsの大きい目とかピンクの唇を合成して遊んだ。逆も然りだけど思い出すと変なことしてたなあ、と思う。

しばらくして、6人か7人でカメラを持って周りの風景を撮りに行った。カモメやアヒルもいたので、それらを撮りながら歩いた。センターへ帰ると、スタッフのKeisonさんがそのうちの3枚をわざわざ色調編集と、印刷した後フレームの貼りつけまでしてくれた。Keisonさんの弟は軍人で前は厚木基地にいたそうだ。ふと見ると、アバターが終わりかけている。話をしていた子も、パソコンをしていた子も見入っていた。

12時15分から昼食が配られる。チキンナゲット、りんごまるごと1個、チーズ、パン、チョコレートミルク、オレンジジュースだった。どれもなかなか良かった。Jakeと小野坂さんの3人で食べながら、青森に4ヶ月いたというスタッフの人の話を聞いた。ねぶた祭りがとてもよかったと言っていた。

食べ終わり(食べきってない)、Jakeに市役所へ連れていってもらおうが、Jakeはそこで帰ってしまう。市役所で高尾さんと合流し、Plantamura夫妻の案内でダリ美術館へ。ダリの絵は奥が深く難しい。でも闘牛士の絵は好きになった。Kathyさんが日本語で説明してくれるのでよくわかる。

次にSt. Petersburg Collegeへ。この大学では、言語、数学、音楽、倫理などが学べるらしい。案内してくれたChancyはハワイ出身。お母さんがこの大学で働いている。あんまり似てなかった。

大学見学中に昼に食べきれなかったチーズとりんごを食べていたら、お腹がすいているのだらうということで夫妻がLittle Italyというこのあたりで有名なピザ屋に連れて行ってくれた。元の1枚が大きいのか、一切れなのにかかなり大きい。頑張って全部食べた。



市役所へ戻る。Jakeが迎えに来てくれた。眠たくてたまらない。夕食まで少し時間があるということなので少し寝ると言ってまた2時間も寝た。7時半頃Jakeに起こされた。仕事から帰ってきたLisaとJakeと、ホストファザーの実家でディナー。車で10分くらいだ。そういえば、どこへ行くにも15分もあつたら十分だ。すばらしい。

到着すると、Host GrandparentsのDavidとSarah、そして両親が仕事でここに今夜泊まりに来たHost CousinのCatharineが迎えてくれた。家を案内してくれた。大きなプールがあって、隣はそのまま海だ。海といっても砂浜はなくただコンクリートで固められている。風が強いので波が高い。プール脇にある七輪のようなものでDavidがディナー用の肉を焼

いていた。炭火にこだわっているそうだ。

中に入って、ラズベリーティーを飲みながらディナーまでの間少し話をした。周りにはケベック、レバノン、モスクワなどいろいろな所へ旅行したときの写真が飾ってある。2人とも世界史が好きで、中でもバビロニアが好きだと言っていた。しばらくすると、用意ができたという事でテーブルへ移動してディナーを食べる。サラダ、ステーキ、コーンと大き



なマッシュルームもあった。手の平くらいの大きさでよく焼けていておいしかった。もっと食べなさい、と進めてくれるけれど、最初に盛った分だけでほぼお腹いっぱいになった。Jakeは余裕で肉2枚を食べていた。果肉たっぷりアップルパイをデザートとして出してくれた。自然な甘さがおいしい。食べながら聞いていると、Davidは「おくりびと」が大好きで、サウンドトラックまで持っていると言うので見せてもらった。見てみると、ラベルは日本語ではなかった。コピー品かもしれないけれど、しっかりした材質で、本物っぽいので断定はできなかった。まだ海に入っていない、と言ったら明日Davidが連れていってくれることになった。

帰る前にSarahがハグと頬にキスをしてくれた。まさか本当にするとは思わなかったので声を出すほどびっくりした。10時に帰る。いつの間にか寝ていた。

7月21日(水)

7時起床。シャワーを浴びて朝食をとる。バースデーケーキの残りとおアップルパイ、ヨーグルト。

10時過ぎからMud WarsへJakeと行く。ダウンタウンのそばにある広場のような所で開催されるようだ。昨日のTech Campで、小野坂さんと高尾さんと、Jakeと一緒に参加した。キャンプ対抗でいろいろゲームをして、それぞれの合計で高得点を目指す。ドッチボール、フットボール、綱引き、イルミネーター（体に浮き輪をつけて押し相撲）を順番にプレイしていく。地面はすべて泥で、ひとつ競技をするだけで全身泥だらけになる。こおろぎが至る所にいるので、裸足で歩くと踏み潰しそうで気持ち悪い。



最初にプレイしたドッチボールでは、最後まで生き残った。相手のチームも最後の1人で、粘った末にボールを当てることができTech Campが勝った。初戦で白星ということで、みんな喜んだ。ハイタッチをしまくって、“Give me hug!”と言いながら寄ってきた奴にはハグをしてあげた。その後のイルミネーターでは、相手を押し倒す前に滑って、自分から顔を泥に突っ込んだ。味方キャンプも相手キャンプもその勢いに驚いて、何人も心配して話しかけてくれた。



Tech Campは、局地的にも総合的にも他の大多数のキャンプよりも劣勢だった。結局勝てたのはドッチボールの予選とイルミネーターくらいで、他は全部負けてしまった。でも、泥にまみれてみんなと協力してゲームを攻略していくのは楽しかった。競技が始まる前に日焼け止めを塗っておいたけど、水で体中何度も洗ったせいか、終わる頃には顔と腕、そして裸足だった足の甲が真っ赤だった。Tシャツは白だったのが、泥のせいで洗っても白には戻らず、茶色のままだった。でも

本当に参加してよかったと思う。みんなと更に仲良くなって楽しかった。でも明日からTech Campに行く予定はない。本当に残念だ。

家に帰ると、10分もしないうちにHost GrandpaのDavidが迎えに来た。これから海へ泳ぎに行く。車で30分くらいの所の綺麗なビーチだった。砂が真っ白でごみもなく歩きやすい。海はプールよりもずっと暖かくて、ゆったりできる。もう夕方の6時なのに日もまだまだ沈まない様子で、人も結構

いた。エクササイズとして泳ぎに来ている人もたくさんいて、向こうの方から何人もクロールで泳いでくる。1時間くらいで海を出て、3人で記念撮影をしてディナーを食べに行く。

食べに行ったのはHook'sというアジア系のレストランで、タイ料理、日本料理を中心に、中華料理、韓国料理などメニューが豊富だった。働いているのはほとんどタイ人らしい。LisaとLynneが入り口で待っていた。すでに満席だったので、2、30分待った後着席できた。日本食を食べようと思っていたけど、タイ料理のPad Thaiというヌードルのようなやつがおいしそうだったので、それをオーダーした。これはGoodだ!、とみんなに言われたので食べてみると確かにとでもおいしい。でもやっぱり量が多くて2食分くらいある。もって帰ることにして、5人ですしを頼んだ。4人ともすしはあまり知らず、選んでほしいと言われたので、たまご、サーモン、中トロ、うにをオーダーした。たまごが大人気で、4人とも、特にJakeがおいしいと言って3度もオーダーした。サーモンと中トロはまあまあで、うにはみんな気持ち悪がって食べなかった。ご飯が酢飯でないのは大きなウィークポイントだが、味はよかったと思う。食べきれないPad Thaiはもって帰ることにした。店を出て、DavidとLynneとはここで別れる。もうDavidとは会えない。握手をした。

家に帰って、Thanks Giving Dinner用のアップルパイを3人で作った。りんごは熟していない青いやつで、サワーだ。これはこれでおいしい。2人ともアップルパイを作るのは慣れているようだ。JakeがアドバイスをするのをLisaはめんどくさがっていた。パイ生地を日本語にカットしようということで、いろいろ悩んで「高松」と切り抜くことになった。あまりきれいにはできなかったけど、Lisaは気に入ってくれた。作りながらドラマを見ていたら、出演者が何と言っているのかほぼ完璧に理解できた。気づかないうちにも英語のスキルは上がっていつているようだ。

疲れて眠たいので11時半就寝。

7月22日(木)

8時起床。よく寝られた。Mud Warsでアメリカに来て初めてまともに動いたので体中の筋肉が痛い。足の甲がひりひりする。朝食はケーキとパイとチョコレートミルク。牛乳にチョコレートを混ぜたというより牛乳をチョコレートに混ぜた感じだ。劇甘。

昼からJakeと博物館へ行く。古い彫刻や絵がたくさんある。源氏物語の屏風絵があった他に、教科書で見たことがあるギリシャやインドの展示品もあった。現代アートもあったけど興味がないのでぜんぜん分からない。Jakeは一つ一つ熱心にみていた。その博物館にはカフェがあったので、そこで昼食をとった。高級な感じが少ししんどいが、その分味はよかった。

博物館を出て市役所へ。市長と会う。少し話をして、プレゼントをいただいた。紙袋いっぱい、市のマップ、美術館の案内、



メモ帳などだった。Rays のペナントもあった。その後市議会見学。そこでは、クロスカントリーのチャンピオンの表彰がされていた。議会の人たちはみんなジョークを言いまくっていた。そのクロスカントリー・チャンピオンの次に3人が前に呼ばれた。前に出ると政治家の人たちが何を言っているか急に分かるようになった。さっきまでほとんど分からなかったのに。一人一人市長が紹介してくれた。Mud Wars で奮戦したということで、Mud Champion と紹介された。市議の人達と記念撮影。

市役所を出て、前にダウントウンに来てからずっと気になっていた Vladimir's へ Jake に連れて行ってもらった。ロシアの雑貨をたくさん売っている。ソ連のプロパガンダポスターを1枚買った。スターリンのポスターはどうしようか迷って買うのをやめた。

ディナーに行くまでまだ時間があるので寝た。こうも眠たいのは時差ボケに違いない。昨夜は8時間くらい寝たのに。いくら寝てもそんなに変わらない様だ。

Jake、そして仕事から帰ってきた Lisa と Thanks Giving Dinner へ。立派なホテルで他の2人とそのホストファミリーたちと食べる。他にも市の人や、よく分からない人達もいた。Chika が作った日本のサラダもあった。砂糖が入っているようだったけどとても美味しかった。他にも少しずつ食べていたけど、すぐにフルになった。最後の方はかなり無理して食べた。昨日の夜3人で作ったパイは美味しかったけど、もう入らなかったのでも少し残した。記念撮影をしてお開き。

うちへ帰る。Lisa に茶葉と和三盆とうちわを渡した。お茶は明日の朝淹れようということで、0時30分就寝。

7月23日(金)

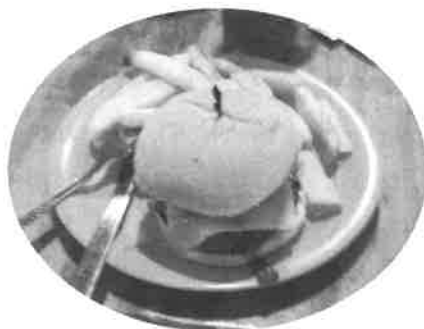
7時30分起床。今日から新しいホストのところへステイ先が変わる。朝食はクリームチーズを塗ったベーグルとヨーグルト。Lisa が緑茶を淹れてくれた。久々に砂糖なしのお茶を飲んだ。Lisa はそのまま仕事へ行った。そのままダラダラ過ごす。



昼は Five Guys というハンバーガー屋へ Jake と行く。そこで2週目のホストの Barbara と Fletcher と落ち合う。そのまま荷物を載せかえて2人と帰る予定だ。

店内はチェッカーフラッグのように赤と白で塗装されていた。ハンバーガーは何と4種類しかないけど、トッピングがトマト、レタス、ベーコン.. と全部で10種類くらいあり、その上ソースも数種類の中から選べるので、組み合わせ次第でかなりの種類のハンバーガーができる。レタスとバーベ

キューソースでオーダーした。店員が気さくに話しかけてくれる。どこから来たのかを聞かれたし、ジョークも言っていた。カウンターには大きなダンボール箱が2つあって、どちらにも落花生がぎっしり入っている。ハンバーガーを頼みさえすればあとはいくらでも落花生を食べていいらしい。1カップだけ食べることにした。出来上がったハンバーガーは普通のアルミホイルに包まれていて、受け取ると油でベトベトだった。大きすぎて日本のハンバーガーのようにかぶりついて食べることはできない。みんなナイフとフォークで食べていたので、同じようにして食べた。ノーマルサイズは確かに大きい。1個でお



腹いっぱいになれる。

食べ終わって持ってきたトランクを持って Jake の車から Warner 夫妻の車へ移る。Jake には、明日見学へ行くバイクスクールで会える。Jake はそこで明日からバイクの免許講習を受ける。家に着く前に Fletcher は仕事へ戻ったので、Barbara と 2 人で家へ。家は街の中心から少し離れていて、ヤードはかなり広いけど、林の中のように木が生えている。ドアを開けると犬が 3 匹出てきた。Lucy, Glenda, Lucky で Glenda と Lucky はまだ小さいので元気がいい。立っていると Glenda に脚をなめられる。Lucky は鼻を鳴らしながら寄って来る。廊下にはたくさんドアがあって、自分の部屋やトイレの場所が分からなくなりそうだ。ホントに 1 度分からなくなりました...

夕方、Barbara と仕事から帰ってきた Fletcher とディナーを食べに行く。仕事仲間の人と食べるらしい。アメリカンな感じのレストランだった。Cracio と Doug という 2 人で夫婦だそうだ。ちなみに Cracio はメキシコ系。メキシコでは車を 13 歳や 14 歳から運転する人もいると聞いた。リアル「頭文字 D」状態だ。

スイスバーガーをオーダーした。ここでもトッピングは選べた。トマト、ミディアムでオーダー。ハンバーガーで焼き方を聞かれるとは思わなかった。

ディナーの後はホームセンターへ行った。ホンの数カ月前に買った LED の電球がもう切れたらしい。「中国製の製品はあぶない。気をつけなさい、中国という国に対しても」と言われた。

新しい電球も中国製のものしかなかったのもそれになったけど、ちょっと違うもので前よりもベターらしい。Fletcher は他にも堅牢さが気に入ったということでハンマーも買っていた。会計は店員さんではなく、機械が無人で行っていた。こんなところを機械化できるのなら、洗濯機や冷蔵庫をもっとがんばって開発してほしい。アメリカの洗濯機、冷蔵庫は最新型でも液晶もなく、かなり簡素だ。

家に帰り、0 時 30 分就寝。

7 月 24 日 (土)

5 時半起床。今日はバイクの教習場へ見学に行く。朝食はシリアル。バイクで行くので長ズボンがいいと言われた。まさか真夏にここまで来て長ズボンを履くとは思っていなかった。仕方が無いので、市長表敬用に持ってきた学校の制服のズボンを履いていくことにした。

6 時に家を出て教習所へ向かう。外は真っ暗だ。ここは日が長いというより、高松より太陽が出るのが遅いだけらしい。車はすでに結構走っている。高速道路を通過して 20 分くらいで着いた。スタッフの人に自己紹介をする。“Nantaro” とか “Nentaro” と言ってなかなか名前を正しく呼んでくれない。アメリカで自己紹介しても、100 パーセント 1 回聞いただけで正しく呼んでくれる人はいない。発音が悪いのと名前がややこしいのと両方だろう。

7 時過ぎから建物で講義を受ける。質問が 126 問あってひとつずつ丁寧に解説されるので休憩 20 分も入れて 11 時 30 分頃までかかった。内容自体はそれほど難しくなかったのも、8 割くらい、時々ビデオも挟んだおかげで分かった。路面、バイクについてと、運転時の人間の心理が主な内容だった。ジョークは理解できず、ひとり笑えなかった。

昼食は家から持ってきた自家製サンドイッチ、りんごまるごと 1 個と生にんじんだった。スタッフの Maria さんがプレッツェルとクッキーをくれた。クッキーが美味しいと言ったらもっとくれた。

教習を受ける人は、若い人よりも昔乗っていたけど今は乗ってないのでもう 1 回、という中年の人が多そうだ。同年代は Jake を含め数名いたけれど、Yamaha が Suzuki が Honda が Sz-*** が、とか

話したけど、バイクに興味がないので全くわからなかった。午後からの実技は参加しないので2時間くらいずっと眺めていた。途中でものすごい雨が降ってきた。3時頃、帰る支度をしてバイクに乗る。ラジオからは“Born in the USA”がながれていた。



6時からフットボールスタジアムへ行く。とても大きくて、中に入ると観客席を囲む形でたくさん食べ物屋がある。数の上には似たような店ばかりで、プレッツェル、ポップコーン、バーベキュー、ピザ、アイスくらいしかなかった。晩飯はそのピザにした。メニューはチーズとマルガリータだけだった。食べ物屋以外にチームのグッズショップもある。Barbaraがそこで Tampa Bay Storm のTシャツを買ってくれた。



スタジアムの天上には大きなモニターがあって、リプレイや客席の様子をながしていた。LisaとLynneもゲームに来ていた。ゲーム前にポップコーンとジュースを買ってくる。7時15分からゲーム開始。ゲームが始まると音楽がガンガンにかかっている、その上観客も騒ぎまくるのでかなりうるさい。相手チームの選手はすさまじいブーイングを受けながら登場する。一方、Tampa Bay Stormの選手たちは、一人一人、花火の中から順番に登場してくる。こちらは歓声すごい。試合はTampa Bay Stormが勝った。ホームスタジアムだけあって応援がすごいけど、アラバマから来た相手チームには応援は一切なくて、ちょっとかわいそうだった。



家に帰って11時30分就寝。

7月25日(日)

8時半起床。朝食にヨーグルトを食べて9時から教会へ行く。20分ほどで到着。



ミサが始まる前にいろいろな人と会った。牧師さんたちとも話した。牧師というと厳しそうな感じを受けていたけど、実際は全くそんなことはなくて、とても気さくな上にタバコまで吸っていた。教会の中にはプロジェクターが2つあって、どちらもミサが始まるまで、「移転費用のため寄付を募集します」と表示されていた。ミサが始まると、聖書の言葉や賛美歌の歌詞が表示されるようになる。今日、Barbaraは聖書の一部を読むということで牧師さんたちと

座るので、その間Barbaraの友人の、日本に興味があるという秋から大学生の女の人の横に座っていた。聖書と賛美歌が何度か繰り返される。牧師さんが話の中で、「それは日本でも___」というのが聞こえた。牧師さんたちのほうを見るとこちらに向かってウインクをしてきた。日本でもキリスト教徒が何

か..と言っていたと思うけど、聞いてませんでした。ごめんなさい。

途中で Peace Time というものが始まった。席を立ち周りの人たちと握手をして “Peace for You” とお互いに言う。何人かとそれをした後、その一緒に座っていた女の子と先に教会を出て話をしていた。しばらくすると他の人達も出てきて、教会のもう一つの施設でみんなでお菓子を食べながら話をした。そこにあったクッキーが最高においしかった。

昼食は近くのレストランで、Barbara の友人 2 人と、そのうちの 1 人の孫の Celia、教会で隣に座っていた子の 6 人で食べた。Celia が退屈そうにしていたので、ナプキンで折鶴を折ってあげると喜んでた。そこでは Tacos をオーダーして食べた。多かったけどなんとか食べきった。

レストランを出て、Barbara とモールへ行った。とても広いところで、1 時間もらって歩き回った。何か買うつもりだったけど、興味があるものが見つからないうちに 1 周してしまった。もう一回行って見たけどやっぱり一緒に、3 回全部見て周りでも何も見つけられなかったので、結局 CD ショップで好きなアーティストのアルバムを探していた。最終的には何も買わず、自分の物欲のなさに悲しくなった。

服には興味がない、違うものが見たいと言うと電気屋へ連れて行ってくれた。確かにとても面白い。アメリカの携帯電話は日本のものよりもずっと高性能だ。欲しかったけどさすがに携帯電話は買えない。やはり何も買わずに出た。



次にスーパーマーケットへ行った。食べ物からテレビ、家具まで何でもある。ここは好みに合ったところで、お菓子と芳香剤を買いまくった。まだ買い足りないけど最終日にまた来られるようだ。そのときに欲しいものは買ってしまおうと思う。

夕食は家に帰って Barbara が作ったミートソーススパゲッティを食べた。おいしかったので何度も食べた。食後、日本から持ってきたうちわ、手ぬぐい、香川県の地図、着物の布切れ、お菓子を渡すととても喜んでくれた。ついでに折り紙で折鶴、ボート、かえる、手裏剣も作って渡した。

その後寝る。眠たかったので 10 時前に就寝。

7月26日(月)

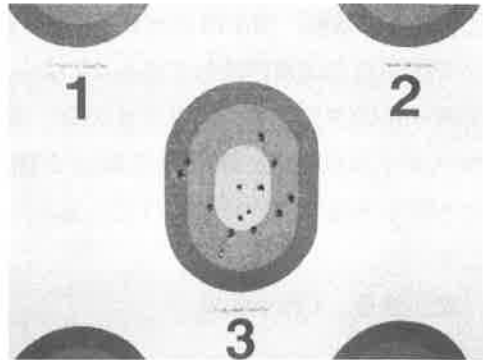
7時起床。ヨーグルトを食べた。Host Sister の Jennie が遊びに来ていた。警察で通報を受けるオペレーターをしていて、夜起きて朝寝するという生活をしているそうだ。日本で ALT の先生をしていたということで、相槌の打ち方がそれっぽく、自然な感じで話せる。その Jennie おすすめの Heroes というドラマをインターネットで見せてもらった。主人公は日本人のようだけど、周りの役者の日本語が変だった。

8時に家を出て警察署へ行く。今日はここで働く Fletcher が見学させてくれる。Jake も来る予定だったけど、熱を出したということで来れないらしい。残念。

最初に Fletcher のボスに会わせてくれた。ボスの部屋はモニターがいくつかあっていろいろチェックできるようになっていた。次に、奥にある銃のコレクションを見せてくれた。銃は最新のものから南北戦争のときのものであった。中には北朝鮮製の AK-47 もあった。朝鮮戦争で鹵獲したのだろうか。

その後射撃場に移動。耳あてとゴーグルをして射撃。最初は小口径のものから。耳あてをつけていても大きな音がするし、火花が出るの見える。名前は良く分からないけれど、5種類くらい撃たせてもらった。口径が大きいと衝撃で手が痛くなるし、ブレて当たりにくいので、小口径の方が面白かった。的に当てるのはそれほど難しいことではなかった。

射撃終わって、Fletcherは仕事に戻っていった。Barbaraと2人でランチを食べに行く。メキシカンが好きだといったので連れて来てくれた。Beef & Bean Tacosをオーダー。チップスがサービスで付いてくる。やっぱりメキシカンはとてもおいしい。今回の研修でメキシカンが大好きになった。すごい量だったけど食べきった。チップスは大量に余ったので、ナプキンに包んで持って帰ることにした。それだけの価値はある。



家へ帰って、5時から夕食を食べる。

チキンが「あのままの形」で出てきて面喰った。コーンとパンもある。全部食べた。

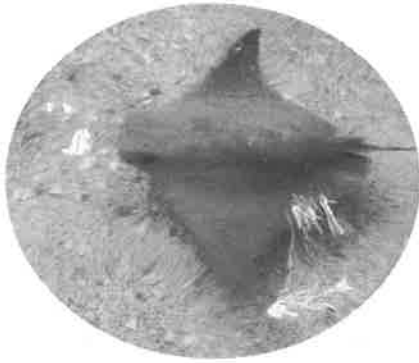
6時前にドーム球場へ行くために家を出る。中はとてもにぎやかだ。今日のゲームは市が取っているスイートルームで見られるらしい。歩いて歩いてやっと5階に到着。スイートルームにはキッチン、テレビがあって、ドーム中央に向けた

客席ももちろんある。球場の全景は見えるけど、選手は遠すぎて分からない。試合が始まる前に、ポップコーンとジュースを売店に買いに行った。あわせて\$9だったので、\$10札を出して、前からやってみたかった「お釣りはとっておいてください」というのに挑戦することにした。“Keep the Change”と言いながら\$10札を出す。上手くできた！ということでポップコーンを持っていこうとしたら、店員の人が“Oh No...”と言うので何かと思ってふと手元を見たら、ポップコーンの袋を思いっきり倒して、中身が3分の1ぐらいこぼれて床に落ちていた。すぐに倒した分新しく入れてくれた。ありがとうございます。



席に着いてポップコーンをしばらく食べていたけど、高尾さんと小野坂さんと売店へ行こうということになって、ゲームもろくに見ず行くことになった。入り口のほうまで戻らねばならない。そこの売店で缶バッチ2個とどんな選手か全く知らないのに、Davisと背中に描いてあるTシャツを買った。売店を出ようとする、JakeとLisaに会った。プレゼントとして、Del soulの日光で色が変わるTシャツと、アメリカ国旗、カウベルをくれた。すごく気に入った。

席に戻ってそれほど経たないのに、また部屋から出る。3人と、高尾さんのHost SisterのAnnaとAnnikaと、小野坂さんのHost SisterのSarahの6人でRays(エイ)を触りに行った。チーム名とエ



イというのをかけているらしい。席から見て球場の反対側にある水槽にたくさん泳いでいた。手を水の中に肘まで突っ込んで触った。ぬるぬるしていた。悪くはない。席に戻るも、もっと近いところで見せてくれると言うので下へ行った。スイートルームには結局ほとんどいなかった。行ってみるととても近くて選手の顔がはっきり見える。ホームランを打ったのも見えた。

試合は Rays がホームラン2本(内一回は満塁)

で、5-0で勝利。相手はノーヒットで、Rays 初快挙ということで選手たちは飛び跳ねて喜んでいた。歓声はドームがフットボールのスタジアムより大きい分、大きかった。歓声とカウベルで耳が痛い。球場内に Rays が勝ったらピザが無料になる店があると聞いていたけど、忘れていてそのまま帰ってしまった。

家へ帰る。1時半就寝。



7月27日(火)

8時起床。シリアルを食べてキャンプへ行く。

今日行くのは Tech Camp とは別のキャンプで、家の隣にある公園の横に施設。Tech Camp の時は Jake、それに小野坂さんもいたけれど、今回は1人なので不安だ。部屋に入って、スタッフの人に“Mud Wars Champion”と紹介されると、みんなが一瞬どよめいた。「日本人が Mud Wars で奮戦した」と言うのは、ここにも知れ渡っているらしい。自己紹介するときは、名前は Ren か Ree にすることにした。そうした方が名前を覚えてもらえていいだろう。それぞれ話しかけてくれる。Caitlin と言う 13 歳の女の子がいろいろ教えてくれて、他のキャンプの子達も紹介してくれた。Caitlin 達と仲良くなった頃、ゲームが始まった。紙コップを8個台において、その上にピラミッド状に紙コップを片手で積み上げて、1分以内に元に戻すと言うもので、とても難しい。2人積み上げるところまで行ったけど、どちらも戻す途中で失敗してしまった。トライしてみたけれど、上まで積み上げることもできなかった。

ゲームの間、何人かと話をした。みんな日本に憧れていた。全てが機械で管理されるハイテクな国、という設定らしい。ただ、写真で見る日本の軽自動車は小さすぎて息もできなさそうだとも言われた。

体育館で遊ぶ。四隅をベースとしてキックベースをした。男子チームと女子チームに分かれて試合開始。サンダルを履いてきたのでうまく蹴ることができず、すぐにアウトになってしまったけど、みんな“Good Job”と言ってくれた。

12時からランチで、公園のベンチでみんなで食べた。みんなが話しかけてくるのを聞いて答えようとするけど、聞くのも話すのも簡単ではなかった。話していると、多数の子が日本と中国、韓国を区別できてないことに気づいた。カタカナで名前を書いてあげて、それを渡すとみんな大喜びした。そのうち親の名前まで書いてほしいと言う子も出てきた。

ランチ後は公園にあるプールに入った。泳いだり、飛び込





んだり、潜ったりでかなりハードだ。もちろん何人かと話もしていたけど、面白くてすぐに帰る時間になってしまった。写真を撮って、ハイタッチ、握手をして別れる。一人だけ途中で抜けるので、すごく辛かった。

帰ってチフリ美術館へ行く用意をする。美術館の前で、3人で地元のテレビ局にインタビューされた。あまりしゃべれなかったけど、クルーの人がフレンドリーだったので緊張はしなかった。中を見学するときも、カメラクルーがついてく

るようだ。きれいに彩色されたガラスの作品がたくさんあった。スタッフの人がゆっくり解説してくださったので、それぞれの作品の背景がよく分かった。作品の多くは風鈴を連想させる形をしていた。

いったん家に帰り、仕事から帰ってきた Fletcher をピックアップして、Cracio が言っていたおいしいメキシカンのレストランヘディナーを食べに行く。そこで、Jennie と合



流して席

に着いた。Taco Asada をオーダー。食べきれないので、もって帰るためにパックに入れたもらった。サービスで出てきた大量のチップスももって帰ることにした。

帰りに Wal Mart へ寄る。アメリカー忙しいマートらしい。お菓子を中心にいろいろ買った。ここも何でも売っている。アメリカのマートは何でもあって当たり前らしい。買い足りない気がするので、明日もまた来たい。



7月28日(水)

7時起床。準備をして9時から昨日と同じようにキャンプへ行く。本当は昨日だけの予定だったけれど、今日する予定だった買い物を昨日の夜にしたので、またキャンプに行くことができた。昨日ノートの切れ端で折った鶴にみんな興味があった様なので、折り紙を持って行って鶴とボートを折った。意外にもボートが人気だった。最終的にはキャンプの半分の子はどちらかを受け取れていたと思う。昨日仲良くなった子と、昨日来ていなかった子にもあげた。

10時から体育館でテニスベースボールをした。テニスの球はキャッチしにくいので、途中から昨日と同じキックベースになった。今日はこれを予想してスニーカーを履いてきたので、アウトになることはなかった。今日は、これから半数の子が映画に行ってしまう。仲良しの何人かが行ってしまった。その後はバスケットボールをした。

昼は昨日と同じように公園で持ってきたサンドイッチを食



べた。話に参加できて面白かった。飲み物がなかったの、隣の子にチョコレートミルクをもらった。



昼からは特にすることが決まっていなかったので、Teen Roomに卓球台があったので卓球をした。がんばって粘ったけれど21-23で負けてしまった。それでもみんなとハイタッチ。部屋の隅で映画が始まったので見ることにした。John Tucker Must Dieという、Johnに3股かけられていた女子学生3人と主人公が協力して、Johnを出し抜く、という話だったけど、途中で体育館に行くことになって最後まで見れなかった。特にすることはなかったの、Caitlinにネイルを

つけてもらった。大きくて、何をしても引っかかって爪がはがれそうになるので、すぐにはずしてしまった。

3時半からまたTeen Roomに戻るけど、帰らなくてはいけない時間になってしまった。仲がよかった何人かとハイタッチをした。「明日帰るからもう来れない」と言うと、特に仲よしだった子は、「I'll miss you」と言ってハグまでしてくれた。もう会えないと思うだけですごく悲しい。またフロリダに来るときは、絶対に会いに行きたい。人と別れるのをこれほど悲しいと思ったことはなかった。



家に戻って、最後の買い物に行く。お菓子はもう十分なので、ポストカードを8枚買った。いったん家に帰って仕事から帰ったFletcherをピックアップしてディナーへ。途中でハーレー専門店に寄った。ハーレーグッズがいろいろあったけど、高かったのでも何も買わなかった。Fletcherは帽子を買っていた。

ディナーはアメリカンレストランで、Fletcher、Barbara、Jennieと、教会で一度会ったCelia、Celiaの母親のKarenの5人と座る。Greek Tacosをオーダー。アメリカンレストランだけあって今までの中で一番多かったと思う。3分の2くらいしか食べられなかった。食べ終わった後は映画、音楽、日本での生活について話した。Karenが流行の動物や楽器の形をしたゴムを2セットお土産にくれた。

帰路、Fletcherお気に入りのアウトドアショップに寄る。釣具、シュノーケル、登山バッグ、銃火器などを売っていた。FletcherとBarbaraはアウトドアショップにもかかわらず、スタッフの人と携



帯電話のプランの話をしていて。スタッフの人達は自分の携帯を出して、プランや機能を詳しく説明していた。そこまでしてくれるとはいい人だ。

家に帰ってパッキングを行う。結構買ったので詰めるだけでも苦労する。量ってみると63ポンドあったけど、制限が分からないので、空港で重いものを出しやすいようにして閉める。明日がもう帰る日だ。宿題のことを考えたら悲しくなってきた。0時就寝。

7月29、30日(木、金)

5時半起床。すごく眠たい。ヨーグルトをひとつ食べて荷物のチェックをする。

6時過ぎに家を出る。空港まで20分くらいで、Lisaの家からよりも少し近いようだ。道中海にかかる橋を通る。ここを到着した晩に渡ったときの事を思い出した。もう最終日か。

空港に到着してカウンターで重さを量る。量る前に重いものは取っておいたけれど54.2ポンドあった。許されるのは50ポンドまでだ。お菓子を4ポンドちょっと手荷物に移す。うっかり液体を機内持ち込み荷物に入れないように注意しなければならない。そのときに持て余した日本のガムと飴は朝早くから見送りに来てくれたMikaにあげた。重さを量りなおすと49ポンドだ。気がつく、パスポートケースがない。スーツケースを開け閉めするうちにそちらへ入ってしまったらしい。諦めてセキュリティチェックのため2階へ。手荷物のバッグが手が痛くなるほど重い。ここで見送りのファミリー達とは別れねばならない。すぐに離れる気はしなかった。握手をしたり、ハグをしたりした。この2週間はとても短かった。日本に帰りたいたとは全く思わなかった。飛行機が遅れてほしいと思いつけていたけれど、ワシントンD.C.行きは“On Time”だった。

ここから付いてきてくれるのは、市の職員のBethとColleenだけだ。セキュリティチェックの後、2人と高尾さんは朝食を食べに行ってしまったので、その間売店で時間をつぶしていた。Tシャツを2枚買った。そのうち、搭乗が始まった。列に並ぶ。ここからは本当に3人だけになってしまう。2人と握手、ハグをして別れる。

座席は14Cで通路側だった。トイレに行きやすい。飛行中に小野坂さんのデジカメで撮った写真を見せてもらった。違う視点から見ると新鮮でおもしろい。聞くと、2人ともそれぞれ苦労していたようだ。

ワシントンダレス空港着。さすがはワシントンという感じで、売店にはオバマグッズが並んでいた。ここでも2枚Tシャツを買った。昼食はメキシカンで、The Classic Britoをオーダーした。中にビーフ、レタス、トマト、タイ米が入っている。Taco Bellで食べたのと同じような感じでいい。27日のディナーのサービスで出てきたチップスも開けて食べた。そう言えば持ち帰ったTaco Asada 冷蔵庫に忘れてきた... 機材故障であわよくばワシントンで1泊と考えていたけど、普通に定時発だ。

成田行き搭乗開始。シートは3人ともばらばらだった。チケットを見ると40E。座席配列が2-5-2で、真ん中の5列のど真ん中だった。トイレに行くにはタイミングを計らねば。シートモニターがついていたけど、日本行きなのに日本語チャンネルはごくわずかで、中国語チャンネルばかりだったのでずっとマップにセットしていた。乗っている間に3回くしゃみをしたら、3回とも両隣の人が“Bless You”と言ってくれた。知らない人にも言うとは知らなかった。機内食はライスとチキンと何かで、ライスをチョイスしたら横に大きなチキンも入っていた。機内食ははっきり言ってまずかった。寝たり起きたりを繰り返していたのでそれほど退屈ではなかった。

成田空港に定時着。空港内でゆっくりすることもなく、すぐに羽田行きのリムジンバスに乗った。羽田到着は渋滞のせいで少し遅れた。その上、高松行きは機材到着遅れで15分遅れるらしい。19時30分発ということでゲートへ行ったら、さらに遅れて結局合計で30分遅れ。バスに乗ってタラップまで。今回は1時間だけなのでとても楽だ。

高松空港ではたくさんの人が迎えてくれた。行きよりも張りきりがいい分、帰りの旅程は疲れた。本当のことを言うと、帰って来たくなかったです。

感想文



高松第一高等学校 2年
大藪 連太郎

新しい「関わり」

出発前、この研修に参加する目的のひとつに「英語が学校で習っただけの学力でどの程度通用するか、現地で生活して確かめたい」ということを挙げていた。そんな目標はホストファミリーと話すだけで易々と達成されてしまう。それくらいなら、研修旅行で確かめるまでもなく、個人旅行でも大丈夫だろう。後から考えてみると、これが一番の目標でなかったにせよ、この目標については吟味しきれていなかったと思う。

アメリカで様々なシステムや制度、そして人々の意識を直接見る事ができた。世界一の大国だけあって、合理的でスマートな考え方がいろいろあった。逆に、豊かすぎて忘れられてしまっている問題もいくつか見つけられた。その問題点を今回の研修で見つけられたのは本当によかったと思う。見つけられさえすれば、自分でアクションを起こすことができる。この研修旅行で気づいたことを通して、新たな視点から見て、普段気づかないことに気づくということをぜひ日頃の生活から実践して、新しい進路を見つけていきたいと思う。

研修旅行で気がついた最も重要な事は、「新しい関わりを持つ」ということだった。会話をしたり、一緒に遊んだり、誰でも常に誰かと関わりを持っている。言語の根底には人との関わりがあり、それなしではいかなる言語でも、たとえ母国語をも学べない。文化が異なるというのは、関わり方が異なるということで、言語を学ぶにはその言語の地方の関わり方を学ぶということが必要不可欠だと感じた。それを理解することができたこの経験は素晴らしいものだった。

でもやはり、「関わり」などの難しいことを考えず、現地で友達ができたことは純粹にうれしい。今回出会った人達は本当に優しく、気さくで、いつも楽しかった。絶対に忘れたくない。早く会いに行きたい。この素晴らしい研修を計画し、サポートして下さった皆さん、本当にありがとうございました。これ以上すごい体験ができないくらい楽しかったです。

日誌・活動記録

高松高等学校2年 小野坂 知子

7月17日(土)

8:20 高松空港。30分に集合だったけれど、もうみんな集まっていた。昨日は、直前まで忘れ物チェックをしていたから、少し寝不足だった。私にとっては初めての海外旅行。そして、高校生だけの長旅。期待と不安が入り交じってわくわくドキドキ。高松市国際交流協会の大山さんや小林さん、日本旅行の高木さん、市の職員の橋本さん、木村さんなど朝早くからかけつけて声をかけてくれた。先月の19日にあった説明会や9日にあった理事長表敬、15日の市長表敬・夕食会の時と今まで大変お世話になった。応募用紙を出しに行ったときや面接の時にお会いしたときは、行きたい!!という強い思いがあったけれど、実際にここに自分が立っているなんて想像もできなかった。たくさんの方々の協力があって、今日が迎えられたんだ。本番はここからだ!



スーツケースを預けた後に、記念写真を撮った。ドキドキして顔がこわばっていたかも…。少し時間があつたから、お土産屋さんを見たら、かわいいご当地ストラップを発見! 3つ買っておいた。

9:00 いよいよ手荷物検査。ここで、見送りに来てくれた人たちともお別れ。元気に3人で行ってきます! さて、検査を受けたところで搭乗までかなり時間が。そこでゲートの前で、お土産に何を持って行くかなど話した。3人で会うのは4回目。この研修が終わるころには、もっと仲良くなれるといいな。

9:40 飛行機に乗った。座席は37F。右が有紀さんで、左が大藪くん。予定通り9:45に出発して、一安心。

11:00 羽田到着。本当に時間ぴったりなんだなあ。11:25にバスカウンターでチケットをもらった。ゲートも確認。今のところ大丈夫。

13:00 成田空港到着。バスの中で寝てしまった。右前の人はアメリカ人だったんだけど、何のこと話しているのか全く分からない。ネイティブってあんなに速くて小さな声なの? 不安になってしまった。成田では、すぐにスーツケースを預けた。空港の人の案内ですんなり預けられた。でも、シカゴ行きの飛行機の時間が遅くなっていた!! 大丈夫かな?

13:20 成田空港のお蕎麦屋さんで月見とろろそばを食べた。2週間日本食を食べられないもんね。食べた後に3人でシカゴ空港の乗り換えの確認をした。遅れるんだったらなおさら頭に入れておかないと!

14:00 まだ時間があつたから、空港内のお店をぶらぶら。和風のシールがあつたから買った。

15:30 出国審査。すごい長蛇の列!! 早めに来て正解だった。案外すんなりできて、その後、38ゲートの確認へ。それから、近くのお店をぶらぶら。電気製品やおもちゃ、白い恋人…いろいろなものがあつてすごく楽しめた。

16:40 搭乗時間に行ったのにまだできない。すごく混んでいる。結局16:55にゲートが開いた。間に合うの?

17:55 本当は17:25に出るはずだったのにずいぶん遅れてしまった。飛行機の中でお父さんが調べてくれた乗り換えの資料をよくよく読んだ。ちゃんと乗れますように！このままだと乗り換え時間が1時間ちょいしかなくなっちゃう。



19:30 機内食。ビーフを頼んだら小さなステーキ2枚とサラダ、パン、野菜、チョコブラウニーのセットだった。ジャガイモとブロッコリーが6つずつついていて、多かった。もらうときに“Thank you.”って言ったら、にこやかに渡してくれて嬉しかったなあ。機内ではcoffee(スタバの)とプレッツェル、orange juice をもらった。ちゃんと言って一安心。

22:30 少し眠ることに。それまでぺちやくちゃ話していたから、いきなり眠れなかった。飛行機の中って寒いしうるさくて眠れないから、ウォークマンのイヤホンで耳栓代わりにして、膝掛けを肩までかけて寝た。

1:30 ふと起きた。まだまだ起きている人も。バレンタインデーがかかっていたから見た。でも途中でまた寝ちゃった。

3:30 ご飯を食べる。パスタと何か聞かれたけど分からなくてパスタって言った。後で考えてラザニアと分かった。発音が違うと難しい。

= 4:15(日本時間) → 14:15(シカゴ)に変更 =

15:05 約40分遅れで到着。成田の遅れがひびいている!!

15:25 入国審査に長蛇の列…↓間に合わないよー

16:30 やっと入国審査。3人一緒に。指紋も採られた、厳しい。それにしても長かった…。飛行機もう出ちゃった…。急いで電話しなきゃ。

16:40 税関を抜ける。ほぼフリーパス。私が入国審査のカウンターにチケットを忘れてしまって待たせてしまった。ごめんなさい。その後すぐに荷物受け取りカウンターへ。「8:15発11:58着タンパ行き」に乗ることに。モノレールに乗ってターミナル1へ。セキュリティチェックでは靴も脱がされた。厳しいなあ！終わったらすぐに有紀さんが電話をしてくれた。電子辞書で言葉を調べた。本当に申し訳ないという気持ちでいっぱい。エリザベスさんは快くOKと言ってくれたそう。



15:50 ジュース屋さんに入ってピーチジュースを買った。初めてドル札を使って感激。でも、一番小さいのを頼んだのに多い！すごいなあ、アメリカ人。飲みながらC30ゲートへ。地下道を通っていくのだけれど、カラフルな電気がついていて面白かった。そういえば、大きな恐竜の骨格模型もあったなあ。遊び心があって面白い！

19:45 ゲートがC30→C28→C24と変わっていた。待ち時間がたくさんあったから洋楽を聴いていたら、うとうとしちゃった。3人の中で一番寝ているのに…。案外私って図太いのかも。

20:40 予定の20:15に動き出したのに離陸が遅かった。これ以上ホストファミリーを待たせたら悪すぎる!! とにかく早く行って!

= 22:58(シカゴ時間) → 23:58(タンパの時間) =

23:58 予定通り到着。よかった。もう真っ暗。外に出ると市のエリザベスさんとベスさんが迎えに

来てくれていた。その後、モノレールに乗って荷物の所まで行ったんだけど、急いでいてきちんと謝れなかった…本当に申し訳ない。モノレールが着くとホストファミリーが待っていてくれた。子どもたちは寝ていて、Judyさんは朝早いので家にいるとのことで、Gregさんが一人で迎えに来てくれた。スーツケースを持ってきて、自分で持ちますって言おうとしたけど、とっさに浮かばず、とにかくお礼を言ってご厚意に甘えることに。荷物を待っているときに電話を貸して下さって、お母さんと話せた。遅いから心配していたみたい。このとき、しきりに“Can you call your family?”って聞いてくれたのに、callの意味が「呼ぶ」の方しか浮かばなくて、5回ぐらい聞き直して携帯電話を出してもらってようやく分かった。意味が分かったとたん、こんな簡単な英語だったの…!と思ってとても恥ずかしかった。



0:35 家までドライブ。Gregさんの車はHondaだった。「好きな曲はある?」って聞かれてとっさに日本で有名なアメリカの歌手を答えた。でも曲名が分からず困らせちゃった。大きな橋を渡り、広い道を通って家へ。海が見える夜景。この風景が私の初めてみた St. Petersburg。昼はどんな街が見られるのだろうか。……ちなみに車は橋の上で100km以上の猛スピード。しかも私の言った歌手の曲を両手でiPhoneを持って調べている!道路がかなり広いから大丈夫だったけど、下手なジェットコースターよりスリリング…。実は夜景どころではなかった(笑)



1:00 家に到着。Gregが急いでくれたので20分くらいで着いた。そこでJudyに挨拶。その後部屋に案内してくれ、家の間取りも教えてくれた。部屋には手紙とチョコレートがベッドの上に置いてあった。楽しみにしてくれていたんだなあ。お礼を言って部屋に行き、まずシャワー。でも冷水しかでない!寒い。

2:30 就寝。クーラーが自動、さすが。あー眠たい。

7月18日(日)

7:00 起床。少し眠かったけどいつも通り準備。外はもう明るい。きれい!!リビングからは子どもたちの声とTVの音が。



8:00 出ようと思ったけど話せるか不安で15分ドアの前で立ち往生。辞書を三回も引いて、やっと覚悟を決めて外へ。SierraとZacharyが「スポンジポップ」を見ていた。一応あいさつしたけれど、上手いかない。そこへGregが来た。JudyはMeetingで朝は出かけているそう。

9:00 朝食を食べにベーグルショップへ。私はとっさにマンゴーベーグルとコーヒーを頼んだ。ベーグルは2つに割ってクリームチーズを付けて食べるんだって。Gregがブルーベリーベーグルにエッグとソーセージをはさんだのとシュガーパイを分けてくれた。なかなかおいしい!

10:00 The Pierに行ったけれど、まだ開いていなかった。残念。Sierraが手をつないでくれた。少

し緊張がほぐれた。Greg も海鳥の説明をしてくれた。

11:00 Greg が公園に連れて行ってくれた。ワニがいるそう
で探してみたけれど、いなくて残念。でもいっぱい動物が
いて、写真もいっぱい撮れた。といっても、ほとんど Sierra
が撮ってくれたのだけれど。Zachery は膝を痛めて、ずっと
Greg に抱っこされている。日本人はアメリカ人よりずっと
幼く見えるって聞いたから、「何歳に見える？」って Sierra
に質問したら、「25 歳？…60 歳？」って。嘘でしょ…ショッ
ク。まだ 5 歳だから、よく分かっていないからだよね。車に



戻る途中で動物の標本があるからと言われて、見に行ったら蛇!!!! あまりに驚いて悲鳴を上げたら
「どうして蛇が嫌いなのか？」って。逆にどうして好きなの？って言いたかったけれど、失礼かなと思っ
て、くねくね歩くのが気持ち悪いって言うておいた。思い出ただけでも、鳥肌が立ってしまう。

12:15 公園を出発。チキン好きって聞かれたから、好きって答えたら、スポーツレストランに連れ
て行ってくれた。チキンの甘酢ソースの 5 本セットと大きなコーラ。3 本食べておなかいっぱいになっ
てしまった。Greg は学生時代 25 本も食べていたって言うから驚いた。50 本食べる人もいるんだって。
でもこの店の店員さんの制服すごいなあ。日本だったら絶対子供連れで入らないよ。

13:30 帰宅。子どもたち 2 人はお昼寝タイム。その間に Greg が写真を見せてくれた。上手いと思っ
たら、写真を撮るのが仕事みたい。雑誌の表紙になっていて、びっくり！家の中にもたくさんの写真
が飾ってあって一つ一つ説明してくれた。私も持ってきた写真を見せながら日本や自分の学校など
について紹介した。そこで Judy が帰宅。



14:00 Judy が子どもたちのシャワーカーテンを買いに
Grocery store に連れて行ってくれた。(ちなみにホームス
テイ先の家にはバスルームが 3 つあって、私の部屋にも私
専用のシャワールームとトイレと洗面台が用意されていた。)
これからビーチに行くって聞いていたので、ビーチサンダルが
欲しいって言ったら、買ってくれた。白のサイズ 5 (日本サ
イズ 22cm)。すぐにいいのが見つかった。お水を買ったら、
硬水だった！

15:20 帰宅。Judy と子どもたちと一緒にビーチの近くの Judy の親戚のおうちへ。Sierra はものす
ごくおしゃべりで叱られっぱなし。キティのメモがお気に入り、文
字を書くのに興味を持ち始めたみたい。昨日渡った橋を通って進むと
海が見えた。真っ白な砂浜、青い空、きれいな海。わくわく。11F の
部屋へ。いとこのジョージさんとサンディさん、Judy のおじいさんが
迎えてくれた。Judy が私の説明をしてくれた。あんな風にすらすらと
自分で言えなくてはならないのか。やばいなあ。ベランダに出てみた
景色は本当に最高で、最初は声も出なかった。きれいすぎる。

18:00 トイレで着替えて下におりた。サンディと Sierra と一緒に砂
浜を歩いた。亀や海鳥の卵があるところに柵をして、保護をしていた。
だからここは海鳥がたくさん住んでいるんだ。サンディがきれいな貝



殻を拾ってくれた。でも貝殻がなんて言うのか分からなくて、苦戦。単語帳が欲しい！

その後、マンションに付いているプールで泳いだ。水着を新調したかいたがあった。でも15分もしないうちにみんながあがりだした。どうしてかな？

部屋に戻ったとたん雨がザーザー降り出した。そういえばさっきゴロゴロって聞こえていた。空が青いから雨雲が来るのがはっきりと分かる。雷もかなり光っている。おじいさんに日本語で雷と雨はなんて言うのって聞かれた。久しぶりの日本語にほっとした。少し泳いだけなのに、帰りは寝てしまった(笑)

19:30 帰宅。夕食は中国料理。JudyとGregはダイエットコーラを飲んでいる。そういえば、Gregって毎食コーラを飲んでいる！しかも朝はおかわりしていたし…。お茶代わりにコーラって本当だったんだ。JudyはPTAの仕事で疲れている。

20:00 Judyとアイスクリームを食べに。クッキーミルクを頼んだ。おいしい！ミルクがとってもクリーミーですごくおいしい！！アイスを食べながら2人で海岸沿いを歩いた。まだまだ明るい。

21:10 帰宅。シャワーの温度調節の仕方が分かった。本気でここでは水で洗うんだと思った。そんなはずなのに(笑)。今日はいろいろあったな。あまり理解できなかつたり、全く分からなかつたりした、失敗。単語不足を痛感。明日はもっとしゃべりたい。

7月19日(月)

6:30 起床。Sierraがドアをとんとんたたいて起きた。着替えた後、腕時計がないことに気付いた。きっと昨日親戚のおうちに忘れて来ちゃったんだ、急いでいたから。困ったなあ。

7:00 朝食。今日はワッフルだ。

8:30 Pink Cricket(ピンク・クリケット)というKidsキャンプへ。たくさん子どもたちがいた。アメリカの子供ってかわいい。でも、みんな蛇好き。蛇を家で飼っている子も！調査書に蛇が嫌いって

書いておいて良かった。私が大の蛇嫌いだとばれたとたん蛇の人形を持って追いかけてきたから、思わず日本語で叫んで逃走。嫌いなんです！！



13:00 Judyがランチに連れて行ってくれた。タイ料理のお店へ。辛いつて聞いていたのにすごく甘い。Judyが半分くらい残していたから全部食べなくていいのってきいたら、アメリカは最初に盛っている量が多いから全部食べたことはないそう。悪いと思ったけれどとてもじゃないけど食べきれなかったから、私も残してしまった。

その後、カップケーキを買いに。でもアメリカのケーキって着色料がいっぱい。ポスターカラーで色を付けたみたい。

14:00 また戻ってきた。日本のガムをあげたら大人気で取り合いに。Ms. Cody(kidsキャンプの先生)ごめんなさい。今日したのはジャングルの塗り絵とダンス。ジャスティンのBabyをみんなで歌っている。レディー・ガガは好き嫌いがあるみたい。それにしても5,6歳でこんな曲を歌って踊れるなんて。私が幼稚園くらいの時は、アニメの歌か童謡しか聴いていなかったと思うけれど。

その後、Mr. Joeとゲームをした。名前を覚えるゲームをしたけれど、私の名前は覚えにくいみたい。



珍しいからかな。次はジャングルに住む動物の名前と鳴き声をいうゲーム。鳴き声は日本と違っていた。Kids キャンプに行くと、厳しいなと思った。お菓子やごみは散らかしっぱなしだけど、みんなでゲームをするときに少しふざけていた子はすぐに退場させられてしまった。私なんかは夏休みなのに親と離れてよく頑張っていると思うのだけれど、やっぱり小さくても社会のルールや大人の言うことをきっちり守れないとダメ。だから小さくても聞き分けがいい子に育っているんだ。



18:00 Judy が迎えに来てくれて帰宅。本当に疲れた。クーラーの効きすぎた部屋に長時間いたのも堪えた。ずっとここにいないくていいよって言うしてくれたから、部屋で少し寝ることに。疲れた。

0:30 あー!! 寝てしまった。なんか寒い。

7月20日(火)

5:00 起床。のどが痛い。今も手が震えている。今日大丈夫かな…。かなりしんどい。シャワーをあびた。まだ日は出ていない。

7:00 Judy が 8:45 にキャンプへ連れて行ってくれるって。それまで一人でお留守番。今日のはのどが痛くて調子悪い。熱冷ましを飲んだけど…。でも、ここでへばっちゃせっかくの研修が台無し。病は気から! くたばってたまるか!!

8:30 Judy と City Hall へ。

9:00 間違いだったみたい。キャンプへ。Rentaro と Jake がいた。明日の Mud Wars の説明をしてくれた。すごく汚れそう…。ここのキャンプは同世代の子が多かった。みんな大人っぽいなあ。日本語で名前を書いてあげたら、“Cool!” って喜んでくれた。これ、すごくいいかも! 書いた紙を切り取っていた。知っていたらカードを持ってきて書いたのに。惜しいことしたな。その後、写真を撮りに外へ。今日もいい天気。でも風邪気味で調子が悪い。Rentaro に言ったら、明日風邪薬を持ってきてくれるって。救世主!! 湖の周りで鳥や花を撮った。キャンプに帰ると写真を現像して、フレームに入れてくれた。写真は上手い方じゃないけれど、撮ったものが良かったのかきれいにできた。嬉しいなあ。



13:00 Jake が City Hall まで連れて行ってくれた。アメリカは16歳から車を運転できるんだって。そこで Yuki と合流。

15:00 ダリ美術館へ。Cathy さんが連れて行って、絵画の説明もしてくださった。面白い形の鉛筆を発見! 思わず買っちゃった。

16:00 SPC(セントピーターズバーグ・カレッジ)へ。Chancy さんが案内してくれた。彼は音楽科でお母さんもこの大学で働いているんだって。大学にはリスも。おみやげにTシャツもくれた。

18:00 City Hall へ帰ってきた。迎えに来てくれた Greg がショッピングモールへ連れて行ってくれて2枚服を買ってくれた。その後、本屋さんとCDショップに。アメリカ版の漫画を買えて嬉しすぎる。

日本の漫画が英語版で発売されているのを知っていたから、一度行ってみたいと思っていたんだ。昨日 Judy に少し話していたのを聞いてくれていたみたい。本当にありがとう。帰りにアイスクリームをおごってくれた。この間とは違うお店。アイスとトッピングを選んで、冷たい鉄板で混ぜてくれる。日本でいうマジックアイスみたいな。でも量が多くて、甘過ぎで最後まで食べられなかった。Small でも 31 アイスクリームのキングサイズくらいある。



21:00 帰宅。子どもたちはもう寝ていた。いつも8時に自分の部屋に行って寝かされている。その後は大人の時間みたい。TVを夫婦二人でみている。だからこんなに静かなのか。Gregに買ってもらった長袖のカーディガン。これで、映画館並みのクーラーから身を守れる(笑)

7月21日(水)

8:25 寝坊した!! やっちゃった! Sierraの声が聞こえていたのに、昨日は7時前に起こしに来ていたから、まだ大丈夫とか思っちゃった。Gregの音がするまで、信用してなかったよ。キヤー!

8:43 出発。15分で全て用意した。こんなに急いだのは初めて。朝食のワッフルはとにかく詰め込んだ。ごめんなさい、Greg。あつ! 服の換えを忘れた…。今日 Mud Wars なのに。



8:53 City Hall に到着。市役所の人を紹介してくれた。その後、日本の学校やイベントについていっぱい話した。日本ではプールが各学校にあるって言ったら驚いていた。センピにはないんだって。あと、かるたについても説明してみた。すごく興味を持ってくれたみたい。嬉しいなあ。

9:30 ずっとしゃべっていた。私あんなに急いだのに。市役所の方が乗せていってくれた。

9:45 会場に到着。既にいっぱいの人が。Yuki と Rentaro と合流。もうすぐ始まるみたい。見に行くついでに泥まみれ。やっぱり着替え忘れるんじゃないか。Yuki と相談して、観戦専門でいくことに。でも、キャンプの人に強く推されて、試しに一回入ってみると、足が泥に埋もれて歩けない。どうしてみんな走れるの!?! 絶対無理! 終わった後で「汚れたくなくて逃げてただけじゃん」って言われてしまった。かなり凶星。でも、聞くのとやるのでは全然違う。やっぱり泥まみれになるのは、かなり抵抗が……。

13:00 Lunch Time。えっ、私のお昼がない。昨日はなぜか夕食がなかったし、朝は急いで詰め込んだからおなかはぺこぺこ。キャンプの人や2人が分けてくれたおかげで食べられたけれど、かなりしょぼんでしまった。

その後は写真を撮ったり、近くの海を見たり。でも、疲れたのと暑かったのとで控え席で Yuki と話していた。久しぶりの日本語。すごく落ち着く。英語では一つ一つ考えながら話している私。自然に言葉が出るって改めてすごいことなんだと思った。

17:00 Jake が市役所に送ってくれた。

18:00 帰宅。すぐにシャワーをあげて、Judy のミーティングについて行った。ちょっとかつちりと

した格好に。教育についての大事なミーティングらしい。本当について行って良かったのかな。

19:00 4人でご飯を食べながらのミーティング。思っていたよりラフな感じだった。自分の実体験を交えながら、今の教育の問題点について話し合っている様子。やっぱりネイティブは速いなあ。Judyにサラダとレモネードをおごってもらって食べた。大きなお皿一杯の野菜に大満足。帰りにJudyにアメリカの教育の問題について少し聞いてみた。アメリカでも学校に行くために働いている子供がいるんだって。ずっと気にかかっていたので、一応今日のお昼のことも聞いてみた。会場でくれると思っていたんだって。ちょっと一安心。

20:30 帰宅。もう次のホームステイ先への移動が近いから、整頓をしていた。思った以上に部屋が散らかっている。

23:30 就寝。

7月22日(木)

6:30 起床。昨日寝坊したから起こされた。今日はシリアルに変えてもらった。だいぶ慣れてきたなあ。

7:40 早い！今日もPink Cricketへ。着くとみんなが手編みをしていた。教えてもらったら、勘が戻ってきて猛スピード(笑)“You are fast learner.”って褒められた。今日はLidiaと同じクラス。彼女は10歳で親切にいろいろ教えてくれる。キューバからこっちに引っ越してきてスペイン語を話せるんだって。お話のワンシーンを書くという課題だったのに、何かよく分からず適当にカップケーキとドラゴンと銃を描いた。一緒のテーブルだったJamesとBrookとも仲良しに。手編みで作ったFriendship ブレスレットを交換。友情のしるしだって。嬉しい！他にネックレスも。いっぱい手編みで作って大忙し。



13:00 Judyが迎えに来てくれた。お別れの時、Brookは泣いていた。Lidiaが住所を教えてくれて、帰ってから手紙を書くことにした。お昼を食べに。チキンのフライにホワイトソースをたっぷり付けてポテトを入れたような、伝統料理だと言っていた。お昼にはもう一人いて、Judyはずっとその人と話していた。

13:30 家に帰って制服に着替えてすぐ市役所に出発。今日は市長表敬。ドキドキするなあ。

14:00 到着。Judyはすぐに仕事に戻った。昨日も言っていたけれど、本当にハードワーク。アメリカでは学生もボランティアをたくさんしないと大学に行けないらしい。長い夏休みも遊べるわけではないんだ…。

14:15 みんな揃って市長室へ。オレンジジュースを出してくれた。会議が長引いて遅れていた。市長さんはすごく温かい人だった。たくさんのお土産を頂いて市議会を見学。

16:15 Judyが迎えに来てくれた。家に帰ってゆっくり片付けをした。着替えてThanksgivingへ。

18:00 Thanksgiving。次のホストファミリーのCandyさんと会った。速い、大丈夫かな。ベランダに出て景色を見た。とてもきれいないいところ。料理はホストファミリーの方が作ってくださったの



を持ち寄っていた。美味しい家庭料理が食べられて嬉しかった。終わった後に Horse Police がいて一緒に写真を撮ってもらった。

20:30 帰宅。シャワーをあびて、片付けを完璧に。

21:15 Greg と Judy にうどんとお好み焼きソースを渡した。本当は作るつもりだったけれど忙しくてそんな暇がなかった。残念。その後、折り紙を作った。でも蛙の作り方を忘れて、悪戦苦闘。昨日2時間もかかって思い出したのに！ようやく



できたのに飛ばなくて、Greg に笑われた。Judy が昔のお笑い番組をみていることも笑っていたし。ひどいなあ。でも、私に分かりやすいようにゆっくり簡単に話してくれて、私が話しているのも気長に聞いてくれた本当にいいホストファミリーだった。一緒にいられるのも今夜で最後。本当にさみしい。もっと一緒にいたかったなあ。

23:00 手紙を書いた。もらったときのようにベッドの枕元に置くつもり。明日は7:30 起き。急がなくては。



7月23日(金)

6:20 起床。洗濯物もらって、アップルシリアルを食べた。Zachery が何か言っている。今日の Sierra は2つ結び。かわいいなあ。5歳なのにもう自分で髪をくくっている。Judy は、本当はくくってあげたいのだけれど自分でやっちゃうって言っていた。私があげたキティちゃんのくしと鏡も気に入ってくれたみたい。よかった。

7:35 寂しいけれどお別れ。Judy が Candy さんのおうちまで送ってくれた。着いてみてびっくり！大きなおうち。本当に2人で住んでいるのかな!? うかがったときは、お風呂に入っていたみたいで、バスロブで案内してくれた。アメリカの人って朝にお風呂に入るって Yuki が言っていた。私は部屋にシャワーがあったから、夜に入っていたけれど。部屋に案内してもらってまたびっくり！キングサイズくらいの



ベッド。庭には鳥やリスも!! かわいい。Sarah さんは出かけていて、14時まで Candy さんはお仕事らしくそれまで家でお留守番。Sarah さんがコンピュータに日本のアニメのアメリカ版を入れてくれていたので見てみると、私の大好きな漫画が！この間本屋で買って漫画が出ていることは知っていたけれど、アニメまでアメリカで放映されていたんだ！びっくり！

11:00 13話まで観て調子が悪くなってしまい、その後はずっと寝ていた。熱がありそう。ここも冷房きついなあ。



14:00 ぴったりに Candy さんが帰ってきて、ピーナッツバターとジャムを挟んだサンドイッチを作ってくれた。調子が悪かった私だけ、美味しく復活。ディズニーチャンネルをみながら食べた。その後、2人でショッピングに。服屋さんと雑貨屋さんに行った後に、RaysのTシャツを買ってくれた。今度の野球観戦の時に着て行って、って。嬉しいな。帰ってきてTVをみながら宿題をした。Candyさんは夕食を作っているみたい。少しだけお手伝い。

17:30 Sarahさんが帰宅。ちょうどクッキーを作っていたところ。今日はトマトスパゲティ。日本に比べるとかなり薄味。ゆでるときに塩を入れていないのかな。ご飯の後にSarahさんが持っているDVDを見せてくれた。日本でもみたのがあって映画の話題で意気投合。「デスノート」を持っていて、「L」が好きって言っていた。Sarahさんは日本のアニメも好きみたい。

19:00 ボーリングをしに。Sarahさんのお友達にあった。私はボーリングを今までに2回しかしたことがなく、ガーターしまくり。スコアがなんと41!! 本当に恥ずかしかった。ボーリングの後にアイスクリームを食べに。Gregが連れて行ってくれたところ! 前に甘くて全部食べられなかったから、甘くしないでと言ったら、ベリー系のアイスを頼んでくれた。これなら大丈夫。Sarahさんのお友達も一緒だった。何か聞いたそうにしていたけれど…。



2:00 帰宅。Sarahさんのお兄さんとお友達が来ていて、庭のウッドデッキでお酒を飲みながら話をしていた。お兄さんは7フィートあるって言っていたけど、やっぱり大きい。冷蔵庫と同じくらいかそれより大きいくらいかも。でも、7フィートって約210cmだったような…。そこまではないと思うけど、聞き間違えたかな。単位が違うから微妙な量の感覚がわからなくて困ってしまう。お友達に何か聞かれたけど意味が全く分からない。かなり酔っていたし、他の人が“Bad words”って言っていたからなんとなく想像は付いたけれど!! さっきの人といい、もう! シャワーを浴びて就寝。



7月24日(土)

7:00 起床。かなり大きなベッドだから半分だけ使った。このお家はトイレとバスタブが同じところにある。

9:00 朝食は外に「ペンケック」を食べに。St. Petersburgからきた研修生から聞いたお勧めで、一度食べてみたいとお願いした。行ってびっくり。「ペンケック」ってホットケーキのことだったのか。「ペンケック」にメロンとスクランブルエッグ、ベーコンのセットでコーヒーをつけてもらった。「ペンケック」の上に



アイスが乗っていると思ったら、全部バター！メープルシロップも好きだけかけていいんだけど、Sarahさん、ちょっとかけすぎじゃ…！ひたひたになってる。ボリュームは多かったけれど、完食。そのあと、大きな木のある公園へ。写真を撮った。



次に、ショッピングモールへ。前にGregと一緒に来たところ。Sarahさんの希望でサンリオショップへ。子供のものって思っていたけれど、結構大人のお客さんも多い。品ぞろえもよくて、お土産を買った。その後、服を探したけれどSサイズがなくてがっかり。かわいかったのになあ…。Sarahと行った石鹸のお店でアメリカ人がよく使う消毒（香りつき）を発見。小さくてアメリカっぽいからお土産に5つ購入。いろんな香りを楽しんでいたら、ふらふら。そこで、ハーゲンダッツのバニラシェイクを食べた。やっぱりおいしい。でも、私にはクリームが多かったかも…。その後、GODIVAへ。高級で日本では、なかなか食べられない！でも、Sarahは好きみたいで、イチゴにチョコをかけたのを5つ買っていた。これ、おいくらなんだろう…。確か5つで7ドルちょっと。「次はどこ行きたい？」と聞かれたから、「映画がいい。」って言ったら見たい映画が夜の8時から！

15:30 ひとまず帰宅。でもまたすぐにショッピングへ。

16:00 私の写真をプリントしてくれるって。コンビニみたいなところに行って、38枚の写真をプリントアウト！その後、2人でお買いもの。GregとZacharyの薬を買いに来たお店だ。Sarahの買いつぶりにはア然…。大きなカートが必要なわけだ。アメリカのレジは、ベルトコンベア。買ったものは、店員さんが袋に入れてくれた。袋は5つにも…。その後、アメリカンフードの代表、ハンバーガーについて挑戦した。チーズバーガーの美味しいお店らしい。大きかったのにぺろりと食べられた。帰ろうとしたら、雨がすごく激しく降っていた。すごい強さ…。



18:00 映画館近くのお店へ。ここは前にJudyに靴を買ってもらったお店。今度は文具を見に行った。アメリカの文具は日本と大きさが違って使いにくいと聞いていたけれど、工夫がたくさんあって思ったよりいい感じ。驚いたのは、教科書の大きさ！教科書がなんか広辞苑みたいな大きさ…。(笑)勉強量ちがうなあ…。私も日本で頑張らねば！本のコーナーを見ると良さそうな雑誌を発見。お土産に買ってしまった。

20:00 いよいよ映画館へ。アメリカでは、10ドルで見られる。ドリンクのスプライトはSだったのにかなり大きめ。ポップコーンはL。バケツサイズの入れ物にたっぷり、食べきれないくらい！(笑)映画はトム・クルーズとキャメロン・ディアスの“Knight and Day”を見た。もちろん字幕がなかったけれど、コメディ&アクション系で面白く見られた。他のお客さんも大声で笑っていた。来てよかった！それにしても、終わった後、みんなエンディングを見ないまま一斉退場…。あれれ…もう帰るの？ポップコーンは結局食べ残しちゃった。



22:30 ようやく帰宅。

1:30 就寝。

7月25日(日)

6:15 6時に起きるつもりが。急いで用意。今日はついに、「ユニバーサル」へ！ Harry Potter のテーマパークです。朝食は昨日のベーグルとフルーツ。Sarah がオレンジロールを焼いていた。缶詰めになっていてオープンで焼くだけ。おなかいっぱいだったから4分の1くらいだけ。

テーマパークまでは、車で2時間。朝の海が車から見えた。道路はすごく大きい。途中で牛乳をもらって飲んだ。フロリダは牛乳生産量？消費量？が全米第2位だから牧場が結構ある。



10:00 到着！すでにたくさんの人。ドキドキわくわく。今日は暑い。リアルに作られた hogwarts

がすぐに見えた。アトラクションは60分待ち…。でも待ったかいあって、とてもスリルで良かった。建物の内装や街並みを見るのもとても楽しかった。動く絵、しゃべるダンブルドア、泡の雪…見どころ満載。お昼ご飯は、チキンサンドイッチ。大きいと思ったけれど完食できた。



14:00 かわいい子ども向けのアトラクションにも乗った。コーヒーカップやジェットコースター…。ジェットコースターは子供向けだから、ちょっとスピードは遅めだけど、高さはあった。おなかがいっぱいで苦しかった。(笑)



16:00 ウォーターコースターに挑戦。

前に並んでいた人はスペイン人。ヒスパニックの方かな…？みんな水着だった。「なんでかなあ」と思ってたら、びしょびしょに。しかも、一番大きな下り坂の前でストップ…。故障した。



17:50 お土産を買った。Tシャツはちょっと値段が高くて断念…。その後、また2時間かけて帰宅。シャワーをして就寝。

7月26日(月)

7:00 起床。朝ご飯はマフィンを食べた。

9:00 今日はCandyがYukiと一緒にカヌーをするため海へ連れて行ってくれた。カヌーはAnnelieseと組になって漕いだ。思ったよりも大変…。海なのにマングローブがいっぱい。お昼ご飯にはサンドイッチを食べた。その後、船に乗ろうとしたら、足がすべってずぶぬれに…。濡れちゃったし、海に入れるのもこれが最後と思って、泳いだ。救命胴衣付きで。(笑)

15:30 海からの帰りにスムージーを食べた。イチゴとオレンジとライムのミックスでとても美味しかった。のどが乾いていたから嬉しかった。

16:30 Yuki のホストファミリーの家でシャワーを貸してもらった。夕食もごちそうになった。こんなに大勢で食べるのは久しぶり。

18:50 Rays のTシャツを着て野球場へ。5Fのスペシャルシートはとても素敵。大リーガーが目の前に!!! 国旗を見ながら国歌斉唱。意外と、アメリカの家では国旗を立てているお家も多い。さすが。試合のほうは、球は速いし、大リーガーは大きい。近くの席で見られたからとても迫力があつた。Rays が6回の裏に満塁ホームランを決めて会場は大盛り上がり!



その次のホームランの時は、カメラを持っていただけど興奮して、撮れてなかった。(笑) 9回表はストライク1つですごい歓声。なんとこの試合で、Rays はノーヒットノーランを達成。試合後、みんながグラウンドに集まっていた。すごくいい試合が見られたなあ。

23:00 帰宅後、就寝。



7月27日(火)

8:30 起床。Candy に起こされた。昨日の夜は部屋を片付けずに寝たからはずかしい…。朝ごはんはトーストとグレープフルーツ。フロリダのグレープフルーツはとてもおいしい。今日は2時までお留守番。荷造り、日記、スクラップ…。やることがいっぱい。

13:00 ハウスキーパーがやってきた。ちょっと変わった人…。なんか模様替えまでしてみた。(笑) お昼は自分で作って食べた。その後はスクラップをしていた。

17:00 ガラス細工の美術館“CHIFURI”へ。開館したばかりでJudy がすごく行きたがっていた。とてもきれいなところ。展示物に“Ikebana”って題のがあったけれどなんか違う…。(笑)

18:00 帰宅。Sarah がまた映画に連れて行ってくれるって! やったー!

19:00 夕食。今日はメキシコ料理。ちゃんとお皿とフォークとナイフを並べて、マナーに気をつけないと。お客さんが来た。

20:00 Rays のTシャツを買いにお出かけ。家族にお土産用。

21:00 見たい映画はかなり遅い時間だったので断念。帰りにアイスを食べた。帰宅後、お世話になったホストファミリーにこっそり手紙を書いた。

23:00 チョコかけアイスを食べながらのDVD鑑賞。「ハイス



クール・ミュージカル3」を見た。でも、途中で眠たくなって、寝てしまった…。

7月28日(水)

7:00 起床。

9:00 Yukiのホストファミリーのうちへ。そこでドーナツ2つを朝食で食べた。砂糖のコーティングつき。美味しい。

10:00 Sunken Gardenへ。有名なお庭があるところで、日本庭園も見た。高松市と姉妹都市という看板もあった。Yukiのホストファミリーには、7歳と5歳の子供さんがいた。いたずら好きな子達だったけれど、すごくかわいかった。

12:30 センピの市長さんと偶然お会いできて一緒に写真を撮ってもらった。その後、近くのハンバーガーショップへ。\$3.99のお手ごろ価格。



13:00 ショッピングモール

へ。ここでは、YukiがTシャツのお店を教えてくれた。3枚購入。Annelieseに仕事があったから、14時には帰宅。スーパーでレジ打ちをしているんだって。



14:30 Yukiのホストファミリーのうちへ。パソコンのYouTubeで日本のお笑いを見た。日本語の映像が久々だと感じたけれど、明日には帰国するんだなあ…。せっかく慣れてきたのに、寂しいし、帰りたくない。

17:30 Sarahが迎えに来てくれた。Yukiもうちの家に一緒に帰った。Yukiはうちに着いて木のピアノを弾いていた。Yukiはフルーツも出来るらしい…。うらやましいなあ。

19:00 SUSHIバーへ。Sushi以外にもお刺身、タイ米チャーハン、スープ、お肉のステーキを食べた。満足。

20:00 JamesとSarah、Yukiの4人でダンスホールへ。アメリカの古典的なダンスをみんな楽しそうに踊っていた。Jamesが教えてくれて、私も踊った。上手くは出来なかったけど…。(笑)



22:15 ダンスホールを出ると雷が鳴っていた。明日、大雨で飛行機が欠航になってくれないかなあ…。

23:00 帰宅。昨日と同じアイスを食べた。Jamesは家でCandyやSarahとしゃべっていた。私はホストファミリーに手紙を書いて、折り紙を折った。

2:30 就寝。

7月29、30日(木、金)

5:30 起床。Candyが起こしてくれた。ああ…本当に今日でお別れだ…。だいぶ生活に慣れてきたところだったのに…。さみしい。朝ごはんはトーストとパイナップル。Sarahも起きてくれて見送ってくれた。ありがとう。Candyがスーツケースに手作りのタグをつけてくれた。フロリダのやしの木

と私のイニシャルの「T」の入ったタグ。



6:20 出発。橋から見える朝日は美しい。この橋を渡ってここにきて、何度も通った。そしてこれで最後。この景色を忘れたくない。

6:45 空港に到着。すでに2人とホストファミリーの方々やエリザベスさん、コリーンさんが来てくれていた。最後にもう一度お別れを言って、いよいよお別れ。Candyがハグしてくれた。本当にお世話になりました。

8:45 いよいよ搭乗。搭乗口まで見送ってくださったエリザベスさんとコリーンさんにお礼を言って、乗り込んだ。さようなら、St.Petersburg。本当は帰りたくない。もっとここにいたかった。いつかまた！

飛行機の座席は左が有紀さんで右が大藪くん。飛行機に乗ってから、すぐに有紀さんは寝てしまった。風邪でしんどかったみたい。大藪君とカメラを交換して、話した。やっぱり帰りたくないっていていた。キャンプがすごく楽しかったと言っていた。それぞれにいい思い出ができたんだね。

10:45 ワシントンダラス空港に到着。

11:20 ゲートを確認して昼食。空港でメキシカのタコスを食べた。野菜が多くて美味しい。大藪くんがメキシカのレストランに行ったときに持ち帰ったというチップスをもらっておいしさに感激。ポテトチップスより薄味で軽く食べられる。

12:30 ゲートへ。近くのお店でおみやげを。これでドルを使うのも最後だから、小銭を使い切るため。買った犬のぬいぐるみはお気に入り！



13:00 出発。ほぼ予定通り。帰りは遅れても良かったのに…。さようならアメリカ。また来たい。今度はもっと英語を上達して！飛行機の座席はなぜか私だけ離れていて前のほう。寂しいな。

13:30 出発してすぐに寝てしまったみたい。でも30分で起きてしまった。眠い。

13:45 氷の音！プレッツェルとジンジャエールをもらった。日本人だったから日本語で大丈夫だった。嬉しい。

14:30 チキンの機内食。でもあまり食べられなかった。座席の前にそれぞれテレビがついていたので、「レミーの美味しいレストラン」を日本語で、「バレンタインデー」を日本語と英語の両方で観た。映画好きの私には嬉しいけれど、同じのが繰り返してかかっているから飽きちゃうかも。

20:00 “The last song”を観ながら、きつねラーメンを食べた。クッキーがついていたのに、ラーメンのおあげだと思って乗っけてしまった。すぐに気付いたけど、恥ずかしい。

22:30 映画も終わり、寝ることに。隣のおじさんがなにか日記のようなものを書いていたようなのでのぞいてみると、すごくきれいな筆記体だった。あんな風にかけたらカッコいいな。

1:00 機内食が来たので起きた。サンドイッチとクッキーとコーヒー。サンドイッチはとろとろのチーズが入っていてとっても美味しかった。満足。

= 2:20(タンパの時間) → 15:20(日本時間) =

15:20 成田に到着。予定より少し遅れたみたい。日本に帰ってきた！13時間の飛行機の旅もあっという間だったなあ。日本人って小さいんだなあ…。日本人の中でも小さい方の私と言えることではないけれど。小柄で細くて！

16:25 バスで羽田へ。渋滞で遅れているみたい。バスから見ると日本って寂しい。St.Petersburgの建物は黄色やピンクとカラフルで、空はとにかく青くて広くかった。でも、落ち着いたこのまちも好き。

17:40 羽田に到着。

18:00 荷物を預けた。高松では荷物を預けたときにEチケットを搭乗チケットに変えてもらえたけれど、羽田は大きな空港だから別だった。三人同時にできるから本当にEチケットは便利。その後、ショッピング。おまんじゅうを買って、黒ごまアイスを食べた。日本のって本当にきれいでおいしい。

18:50 手荷物検査へ。飛行機が遅れているみたいで有紀さんが国際交流協会の小林さんに連絡してくれた。本当に頼りになります。

19:45 30分の遅れ。九州と北海道で雨が降っているみたい。家族に遅れると連絡しておいた。飛行機の中で日記を書いた。これで最後。こんな風に自分の行動を細かく書き留めておくことって今までなかったな。飛行機や部屋の中、時には夜中にベッドで寝ぼけながら、それでも毎日書いた日記。この2週間の思い出がぎっしりつまった宝物になった。

21:00 30分遅れの到着。家族や国際交流協会の方、市役所の方、日本旅行の方など夜遅くにもかかわらず待ってくださっていた。帰りたくないと思っていたけれど、やっぱりここは心がほっとする。これがふるさとなんだ。本当にこのような貴重な経験をさせてくださってありがとうございました。一生忘れないすばらしい思い出と出会いが出来ました。

感想文



高松高等学校 2年

小野坂 知子

The memories of special summer…!

本当に参加して良かった。研修が終えて一番に思ったことです。親元を離れ、日本語の全く通じないところで過ごした2週間。高校生3人だけで飛び立ち、もちろん初めは不安と期待でいっぱいでした。数々の苦戦はあったものの何とか乗り越え、思いっきり楽しむことができ、本当に私を成長させてくれた素晴らしい経験となりました。

最初に苦戦を強いられたのは、初めてホストファミリーの方とお会いしたとき。挨拶は考えていたのに話しかけられた言葉が全く理解できず、いきなりショックを受けました。翌朝、何を話せばいいのか分からず、いざ何か聞かれてまた聞き取れなかったり話せなかったりしたらどうしようと、部屋のドアからなかなか出られませんでした。緊張が解けたのは、その後ホストシスターのSierraが手をつなぎに来てくれたとき。笑顔で話しかけてくれる彼女を見て、大切なのは言葉を伝えることではなく、気持ちを伝えることなのだと思いき、それからは言葉が上手く通じなくても失敗を恐れず自分から話しかけられるようになりました。また、高松で理事長さんがおっしゃった「とにかくせつかくの機会ですから、楽しんで。」という言葉をおぼえ、研修生の使命や国際交流といったものにとらわれず、ここでのひとつひとつの出会いを大切にすることを第一に考えました。

車で移動することの多いアメリカで、役立ったのが洋楽です。最初何について話そうかと話題に困ったとき、たまたまかかっていた曲を知っていて話をするのが出来ました。そのほかにも洋画や日本の漫画などは知っている人が多く、私も好きなのでそこから話し始めて、日々の生活や景色の中で疑問に思ったことを聞いてみたり、高松との違いや日本の文化などの話をしたりすると興味深く聞いてくださり、自分も分かりやすく詳しい説明をいただくことができました。車の中での会話は印象に残っていて、しかも好奇心旺盛な自分の性格が少しでも生かされたような気がしてとても嬉しかったです。

帰国するときは帰りたくないと思っていたものの、高松に帰ってくるとやっぱり故郷は落ち着きました。確かにセント・ピーターズバーグの海は青くきれいで、街もカラフルで夢のような楽しい所だけれど、高松の田んぼに囲まれたのどかな風景は心が和みました。景色だけでなく、特に感じたのは食べ物について。帰って食べた日本食は美味しくて口いっぱいにはおぼりました。高松の料理が一番だなあとつくづく感じました。

時差が13時間もある遠く離れた街の人たちがこんなにも温かく自分達を迎えてくださったことに感動し、長い間続けてきた姉妹都市の絆を感じました。セント・ピーターズバーグでの生活は日本とは大きく違って驚きの連続でしたが、たくさんの方々を支えられて、不安を振り切りながら積極的に挑戦していったことで、自分の殻を破り成長できたような気がします。そして海外を訪ねてその土地の人々の文化や生活を知ることによって、もっと自分や日本を世界的な視野で見たいと思えるようになりました。

最後に、私にこのような素晴らしい経験をさせてくださった高松市とセント・ピーターズバーグ市の関係者の皆様、いつも温かく笑顔で私の英語にとことん付き合ってくださいましたホストファミリーのOwen 家と Scherer 家の皆さん、楽しいKids キャンプの子どもたち。本当に感謝の言葉でいっぱいです。多くの方々に支えられて、私はかけがえのない素晴らしい時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

日誌・活動記録

高松第一高等学校 3年 高尾 有紀

7月17日(土)

国際交流協会の方々や日本旅行の高木さん、家族に見送られ、アメリカへと出発した。9:45 発羽田行きの飛行機に乗り、バスを乗り継いで成田空港に到着。しばらく日本食とはお別れだと思ったので、昼食に3人でお蕎麦を食べた。出国審査を終え搭乗口に向かっていると、シカゴ行きの飛行機が30分遅れることになった。結局シカゴ到着は1時間遅れとなり、入国審査にも時間がかかったため、予定のタンパ行きの飛行機に乗ることができなかった。まず小林さんに連絡し、その後エリザベスさんに連絡。「飛行機に乗り遅れ、タンパ到着が夜中になります。」これだけのことを伝えるのに、とても緊張して、上手く伝わったかどうか分

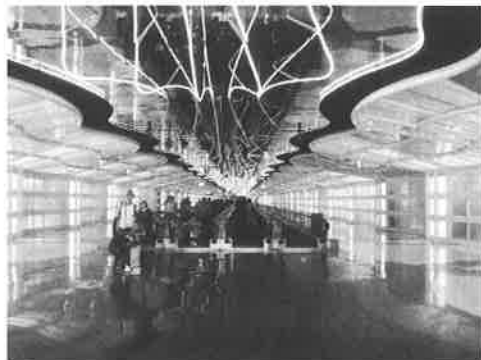


らなかった。思いがけないアクシデントだった。タンパ行きの飛行機を待っている間、腹痛が襲ってきて、搭乗時間まで待合室で眠ってしまった。

夜中の12時頃タンパに到着すると、出口で St. Petersburg の関係者の方が待っていてくれた。荷物受取の所には、ホストファミリーたちが待っていてくれた。こんなに夜遅いののに私たちを出迎えてくれ、嬉しさと感謝の気持ちで一杯になった。Chika さんや、

Anneliese の家族と挨拶し、Chika さんと一緒に帰宅。家に着いて、「夕食は食べた？」と聞かれ、「食べてない。」と答えると、サンドイッチを作ってくれた。色々しているうちに、就寝時間は4時になってしまった。

右の写真は、シカゴ・オヘア空港の地下道の様子→



7月18日(日)



疲れていたのか、“Wake up!!”と言われて時計を見ると11:30!! 朝(昼)ご飯を食べにハンバーガー屋さんへ行った。シェイクの大きさには圧倒された。そのまま TAMPA'S LOWRY PARK ZOO へ。キリンに餌をあげたり、ラクダに乗ったり、ホワイトタイガーやマナティも見た。動物と触れ合うのは楽しかったが、それにしても暑かった!! 高松の暑さとは桁が違った。まるでサウナの中にいるような温

度と湿度。もう少しカラッとしているのかと思っていたのに。帰ってから、ホストシスターの Maya と Mika と一緒に WII をして遊んだ。体年齢が 40 歳と測定されて、皆に笑われた。夕飯にミートストロガノフとマッシュポテトを食べ、夜には Chika と色んな話をした。近くの湖に行けばワニがいる、Pier に行けば野生のイルカやマナティが見られる、とか、どれも驚きの内容ばかりだった。0:30 就寝。



7月19日(月)

今日は初めてのデイキャンプへ。色んな人が話しかけてくれた。卓球やドッジボールをして遊んだ後、プールに入った。ウォータースライダーに乗ったり、Nahja という女の子とたくさん話をしたりした。その後外で昼食を食べて、午後からは「いじめ」についての講義を聞いた。内容はほぼ理解できた。自分と友達との共通点と相違点を3つ探して発表するという時間があり、私も発表した。皆が拍手をしてくれて安心した。



キャンプの後、Chika と Maya と Mika と、Maya の友達



Angela と一緒にショッピングモールへ行って、集合時間まで一人で散策。Tシャツを4着購入。アメリカのサイズは大きすぎて、キッズサイズがちょうどよかった。その後レストランへ行って夕食。何も分からず注文すると、チキン4個にパンにフレンチフライ、マカロニ&チーズという、考えられない位の量が



出てきた(右)。結局チキン1個でお腹一杯になった。残りはパックに詰めてもらって持ち帰った。明日が Maya の誕生日だということで、Angela がお泊り。夜は、ホストファザーの Jose の友達に来て音楽を楽しんだ。私は木のフルートを吹いた。1:30 就寝。

7月20日(火)

朝ごはんを家で食べたのに、朝食後すぐに DUNKIN' DONUTS へ行った。1個注文するののかと思ったら、1人4個。2個しか食べられなかった。その後 International Mall へ行った。すごく大きくて、高級な店ばかりだった。テディベア専門店、自分のテディベアを2個作った。自分で綿を入れ、くまの服も自分でコーディネートした。最高のお土産になるよ、と言われた。Mall 中のレストランで昼食を食べた。またまた大きいサンドイッチを選んでしまった。

午後からは Plantamura 夫妻に、Dali Museum と SPC (セントピーターズバーグカレッジ) を案内してもらった。Dali の絵は奥が深かった。SPC では、図書館や食堂を見たり、音楽系の学部の部屋や、コンサートの練習の様子を見たりした。帰りに、Little Italy というピザ屋さんに寄った。おいしかったけれど、お腹が破裂しそうだった！

帰ってからは夕食の手伝いをした。今日は Maya の誕生日だから、Maya の希望でマカロニ&チーズとカレー。日本のカレーが食

べられて嬉しかった。アメリカ

のバースデイケーキは、カラフルですごく甘かった(下)。クリームが色んな色をしていて驚いた!! 寝る支度をしていたら、猫の Shake が部屋にやって来てベッドの上にあがってきたので一緒に寝ることにした。



7月21日(水)



AM7:30 に起きて、キャンプへ行く途中にマックへ寄った。ステーキバーガーとハッシュドポテトを買ってもらい、車の中で食べた。キャンプに到着すると、テイラという15歳の女の子が沢山の事を説明してくれ、水着と汚いTシャツに着替えた後、MUD WARS へ出発!! 会場到着後、大藪くんと知子ちゃんと合流し、MUD WARS が開始された!! 最初のドッジボールでは、大藪君の奮闘

ぶりを観戦。全員が頭から泥まみれになっているのを見て、参戦するのがかなり怖くなった。試合がなかった時に、知子ちゃんと海岸へ行って、足だけ海に浸かった。昼食には、Chika の作ってくれたお弁当を食べた。おにぎり4個にタコスとチップ。その後の試合も、泥に入る勇気が出ないまま観戦していると、19日に行ったキャンプの子たちが、「Yuki!!」と抱きついて来た。





結局、私の体もハグした
だけでドロドロになって
しまった!! 頭からホー
スで水をかけてもらっ
たが、泥はしつこくて、な
かなか落ちななかった。
その後、海岸に降り注ぐ
日光で体を自然乾燥させ

た。海岸に立っているだけで、あっという間に乾いてしまった。
MUD WARS 終了後、キャンプまで Chika が迎えに来てくれ、一緒に
スーパーへ行った。夕食のタコスの材料を買った。夕食後、家族
全員で The Pier に行った。5 階からは St. Petersburg が一望でき、
夕日が沈むところを見た。帰りに、VINOY という最高級ホテルに立ち寄った。松井選手が泊まるとい
うホテルだけあって、プールがあったりして、洗練されていた。



7月22日(木)

午前中は、Jose と Maya と Mika とショッピング。家に帰っ
て、昼ごはんの手伝いをした。ハンバーガーとフレンチフライ。
ソースから手作りで、やはり日本のとは違った。午後から、
制服に着替えて市役所へ行った。市長表敬訪問と市議会議
表敬訪問があった。新聞社が取材に来ていたり、テレビで生
中継されたりした。改めて、自分が親善研修生であることを
実感した。夜にはサンクスギビング夕食会があった。この会
は、各家庭が一品ずつ料理を持ち寄ってパーティーをする、
11 月にある感謝祭の夕食会の形式だそうだ。各家庭が、1 番
自信のある料理を持ち寄っていただけあって、全てがおいし
かった。バルコニーからは、海や美しい建物が見えたり、涼
しい風も吹いていて心地よかったので、色んな人と話したり、
写真を撮ったりした。料理やパーティーの形式から、アメリカ



の文化を
感じる事

ができた。帰りは、公園に馬に乗った警察官がいて、
馬に触ったり、記念撮影をすることができた。こ
の日が、ファーストホストファミリーと過ごす最
後の日だということもあって、夜遅くまで話をし
た。



7月23日(金)

朝5時半に起きてビーチへ。昼は35度を超えるのに、朝は高松より涼しかった。サラサラの砂浜を裸足で歩いた。海は温かかった。ビーチを3か所散策し、3つ目のビーチでは、エイが浅瀬にいるから気をつけてと言われ、刺されたくなかったので入らなかった。Mikaは砂浜でお城を作っていた。家に帰って、荷物をスーツケースに詰めて、Chikaの家とお別れ。家族全員に見送られ、セカンドホストファミリーの家に到着。さっそく七面鳥のサンドイッチを作ってくれ、WIKEE WACHEへ行くので車の中で食べた。WIKEE WACHEでは、水中でのマーメイドショーを見た。女の人が、人魚の格好をして、水の中で目を開けて、華麗に踊っていた。本当の人魚みたいだった。さらに驚いたのが、ショーに使っている池や、敷地内のプールや川、全てが、Springであったこと。自然に湧き出ていると言っていた。ボートに乗ったり、爬虫類のショーを見たりして、帰宅。夜はボーリングへ行ったが、スコアが低すぎて恥ずかしかった。深夜にYAHOO JAPANを見て、日本のニュースや高校野球の試合結果速報を見た。一高が三回戦を突破したというニュースを見て、とても嬉しくなり、Annelieseに説明をして、一緒に喜んだ。



7月24日(土)

朝は何時でもいいと言われていたので、目覚ましを鳴らさなかったら、“Are you OK?”と言われて気づくと、昼の12:30だった。昼ごはんを食べて、Annelieseと一緒にショッピングへ行った。タンパにある、大きなアウトレットショップのモールへ行った。色々なブランドの店を回って、友達や自分の服を購入した。アウトレットという事と、円高も重なって、日本よりもかなり安く買えた。BODY SHOPに行くと店員さんに、Japanese cherry blossomsの新作のソープが出たよ、と言われ、ボディソープを4個購入した。帰りにアイスクリームを食べた。駐車場に向かう途中、激しいスコールに遭って、全身びしょ濡れになってしまった。

夕食後、フットボールの試合を観戦に行った。会場は熱気に包まれていて、応援の歓声や音楽などで、会場が震えていた。日本では考えられない位の熱狂ぶりで応援する姿を生で



見て、地元の人たちの、タンパ・ベイ・ストームへの熱い思いが伝わってきた。また、試合をアップで映すスクリーンがあり、カメラマンに必死に手を振ると、その画面に映してくれる時間が試合の合間に何回かあった。そこで、私も必死に手を振っていると、なんとか映ることができた!! そんな喜びや感動の余韻に浸りながら帰宅後、すぐに就寝。



7月25日(日)

午前中、教会へ行った。神父さんに、日本からの親善研修生だと、大勢の前で紹介された。讃美歌を合唱したり、神父さんの話を聞いたりした。ミサが終わった後、ミサに来ていた人で、ケーキを食べたりお茶を飲んだりした。アメリカのブラウニーや紅茶は、日本のよりもはるかに甘かった!

夕方、Annelieseの伯父さんの誕生日パーティーに行った。伯父さんの家に、親戚の多くが集まっていた、立食パーティーだった。皆でHappy Birthdayの歌を歌い、ケーキを食べた。しかし、そのケーキはカラフルで予想以上に甘くて、食べるのに一苦労した。食事の後、全員で伯父さんを囲んで、プレゼントを渡していった。ソファーに座って、メッセージカードを読みながら、プレゼントを一つ一つ開けていく光景。いつも洋画で見ている映像が目の前にあった。夜、Annelieseと彼女の友達と一緒に、アメリカンキャンディーの店へ行った。小さい店なのに人気があって、並ばないと中に入れなかった。帰り道に、24時間営業のスーパーへ寄って帰宅。インターネットを見た後、深夜2:00就寝。

7月26日(月)

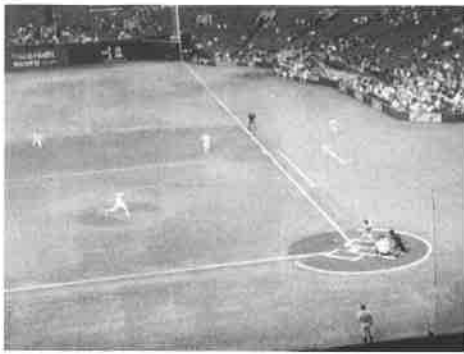
朝、知子ちゃんが家に来て、私のホストファミリーと一緒にカヤックへ行った。もちろんカヤックは初めてで、最初は乗り方も漕ぎ方も分からなかった。しかし、JoshというAnnelieseの友達が一緒に乗ってくれた事もあって、段々漕ぎ方が分かっていった。マングローブの中をカヌーで進んで行き、マングローブの途中にある休憩所で、サンドイッチの昼食をとった。私はマングローブを見るのも初めてで、その入り組んだ作りや、マングローブに張り付いている大量のカニを観察しながら進んで行き、マングローブ林を抜けると、そこには大海原が広がっていた。太陽の光を受ける海は輝いていて幻想的だった。海



を眺めていると、目の前を野生のイルカが何回かジャンプした。Annelieseは、何回もカヤックをしているが、こんな事は初めてだと言っていた。帰り道、スムージーを食べに行った。ライムやレモンが入ったレギュラーサイズを頼んだ。大きかったが、その分疲れていたのので、すぐに飲みほしてしまった。

夜、タンパ・ベイ・レイズの野球の試合を見に行った。フットボール同様、熱気に溢れた会場だっ





た。座席はプライベートシートだった。レイズのグッズを買いに行っている間に、レイズが満塁ホームランで一挙に4点を先制した。その瞬間を生で見たかった。最後は、バッテリーボックスの横の席に案内してもらい、試合を間近で見られる事になった。この試合は、ノーヒットノーランという、レイズ史上初の記録を更新した試合になり、そんな試合の歓喜の瞬間を目の当たりにすることができた。こんなにも素晴らしい席を用意してくださった事に感謝の気持ちが溢れた。

7月27日 (火)

昼から、近所のペットショップへ行った。子犬を4匹抱かせてもらった。とても小さくて可愛かった。店長さんに、「マジックは好き？」と



聞かれ、好きだと答えると、急に私の耳からハムスターが出てきた！ハムスターが苦手なのと驚きとで、絶叫してしまった。家に帰って休憩した後、グラスミュージアムへ行った。入る前にテレビの取材があった。中に入ると、巨大な作品や、日本の生け花をモチーフにした作品などが並んでおり、その美しさや繊細さに感動した。夕飯の後、犬を連れて公園へ散歩に行った。高台に上って夕日を見たり、林の中を歩いたりして、自然を満喫した。犬を連れてそのまま車で、“SNOW BALL”というアイスクリーム屋さんに行き、ストロベリーチーズケーキ味のかき氷を食べた。甘酸っぱくて優しい味がした。



7月28日(水)

朝、SUNKEN GARDENS という植物園へ行った。熱帯の植物の中に JAPANESE GARDEN もあり、Sister Cities と書いた記念碑もあった。これを見た時、姉妹都市としての繋がりを感じた。昼食は、FIVE GUYS というハンバーガーショップへ行った。アメリカへ来て、六回目のハンバーガーになった。



夜は、知子ちゃんのホストファミリーの Sarah にダンスパーティーへ連れて行ってもらうことになった。晩御飯は、Sarah が日本食をごちそうしてくれた。刺身と鉄板焼きでお腹一杯になった後、ダンスパーティー会場である GULFPORT CASINO へ行った。SWING DANCE というアメリカの



古典的なダンスで、周りの人たちは優雅に踊っていたが、私はぎこちないままだった。夜遅くまで踊った後、家に帰り、明日の帰国の準備をした。スーツケースに詰めるのにかなりの時間がかかり、夜寝るのは AM3:00 を過ぎた。もう体がクタクタになっていた。



古典的なダンスで、周りの人

たちは優雅に踊っていたが、私はぎこちないままだった。夜遅くまで踊った後、家に帰り、明日の帰国の準備をした。スーツケースに詰めるのにかなりの時間がかかり、夜寝るのは AM3:00 を過ぎた。もう体がクタクタになっていた。

7月29、30日(木、金)

朝 5:30 に起床。20 分で準備をして、朝食を食べずにタンパ空港へ出発した。空港に到着後、飛行機のチケットを取り、荷物を預けて、保安検査場へ向かった。保安検査場の入り口で、先に、Anneliese とお母さんの Andrea と抱き合ってお別れをした。その際、一週間をまとめたアルバムをくれて、涙が出そうになった。最後に、Chika と Mika ともお別れをした。Chika に、「いつでも St. Petersburg に戻って来てね。大学生になったらまた来てね。」と、優しい言葉をかけられ、アメリカを離れる事がとても辛くなった。センピの担当者の方二人と一緒に保安検査を抜けて、搭乗口のへ向かい、朝ごはんを食べていない事を伝えると、担当者のベスさんがベーグルを買ってくれた。食べ終わった後、飛行機に搭乗し、ワシントンへと出発した。ワシントン・ダラス空港で昼食をとり、お土産を少し買って、成田行きの飛行機へ搭乗した。隣の席にはアメリカ人の男性が座っていて、フライト中も色んな話をした。成田到着後、羽田行きのバスに乗り、羽田空港では羊羹を買った。高松空港行きの飛行機が 30 分位遅れて出発し、夜の 9 時頃高松に到着した。空港では、国際交流協会の方や高木さんが待っていてくださり、安心した気持ちと感謝の気持ちが入り混じった。写真を撮った後、家に帰宅。大変充実した 2 週間だった。このような機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。



感想文



高松第一高等学校3年

高尾 有紀

異文化間コミュニケーションに大切なもの

私はこの度、高松市の姉妹都市であるセント・ピーターズバーグへ2週間滞在し、多くの素晴らしい体験をしてきた。渡米前の目的として、個々の信頼を築くことが次へのステップとなり、発展へと繋がる役割を果たせたらと、それには人と人とのコミュニケーションを大切にしようと、ただ漠然と大きい目標をもっていった。

滞在中は、きっとこれからの人生の中で経験することのなかったであろう海でのカヌーを行った。カヌーのすぐ横でイルカが跳ね上がった時は心の底から驚いた。

そのような全く違う環境の中、日々数々の活動を通し、食生活にも慣れてきたころ、私は、本当のコミュニケーションの難しさを感じ始めていた。私の愛読書の中に「AGENDA」（渡邊秀夫・著）という大切な1冊がある。その中には「異質が前提の異文化間コミュニケーションは、言語化の能力に掛かっているとんでもない」という1節がある。私には、この文章が非常に重く伝わってくる。外国語による自己表現の難しさ、言葉を用いての伝達の難しさを痛感する場面を多々感じたからである。また、「外国語を理解し扱えるということは、この言語に固有の考え方とその表現方法をはっきりと意識し他の言語との違いを弁えた上で使い分けることをいう。」との1節もある。帰国後、この本を読み返した時、私は「言語と人間という文化」が少し理解できたような気がする。つまり、この2週間の外国での生活において自分の考えや思いを言葉で語り表現することが異文化間での相互理解のひとつの方法であろうと感じている。単に、「話す」ではなく「語り合える」「ディスカッションできる」人材にならなければ本来の目的とする信頼は成立しないということだ。

今回のこのような貴重な体験は、「言語」に対する私の今までの曖昧な考えを問いただす良い機会となった。そして世界は広いことを体感した。今後は、視野を広く持ち、勉学に励み、これからの数多くの困難にも臆することなく生きていこうと思っている。

最後に、今回大変お世話になった高松市国際交流協会の皆さま、セント・ピーターズバーグの皆さまに心より御礼申し上げ、親善研修報告とさせていただきます。